

13

労働時間短縮

昭和八年十二月

労働時間短縮ニ關スル質問書及其ノ説明

社  
會  
局



0037834-000

A523-E5

労働時間短縮ニ關スル質問書及  
其ノ説明

[内務省] 社会局

1933. 12

AGF



A523  
E5



89W55428

労働時間短縮ニ關スル質問書及其ノ説明

目次

一、緒言	一
二、第十七回總會ニ提出セラレタル労働時間短縮ニ關スル 委員會ノ報告書	三
三、總會本會議ニ於ケル委員會報告書ノ討議	三三
四、質問書ノ作成	三五
序文及質問書	四一



## 労働時間短縮ニ關スル質問書及其ノ説明

### 一、緒言

國際労働總會ハ其ノ第十七回會議(一九三三年六月)ニ於テ二回討議制ニ基ク第二次討議ノ目的ヲ以テ労働時間短縮問題ヲ一九三四年ニ於ケル第十八回會議ノ議題トシテ掲ゲタリ。

本問題ハ現在ノ深刻ナル失業ヲ緩和スル手段トシテ労働時間ヲ短縮スルコトヲ目的トスル即時的國際的措置ヲ迫レル伊太利政府代表「デ、ミケリス」氏ノ一九三二年七月附理事會會長宛書翰ニ端ヲ發セルモノナリ。而シテ同年九月ノ理事會ニ於テハ右ノ請求ニ應ジ本問題ノ準備的審議ヲ爲サシムル爲三部制準備會議ヲ招集スルコトヲ決定セリ(但シ農業勞務及海上労働ハ右問題ノ範圍ヨリ除外セラルルコトナレリ)。次デ數週ノ後十月ニ理事會ハ更ニ三部制準備會議ノ報告書ニ基キ再審議ヲ爲サシムル爲本問題(註)ヲ第十七回労働總會ノ議題ニ加フルコトニ決定セリ。

(註) 第十七回總會ノ議題項目ノ字句ハ「労働時間ノ短縮、三部制準備會議ノ報告書」。

三部制準備會議ハ一九三三年一月十日ヨリ二十五日迄開催セラレ政府代表並ニ使用者及労働者ノ代表ヨリ成ル三十五ヶ國ノ代表之ニ出席セリ。又埃及ヲ代表スル一名ノ「オブザーヴァー」ノ出席スル



アリ且「アメリカ」合衆國ハ「ジエネヴァ」ニ於ケル其ノ領事ニ對シ能ク會議ニ留意シテ之ガ報告ヲ爲スベキコトヲ訓令セリ。

準備會議ノ報告書ハ同年二月理事會ニ提出セラレ仍テ理事會ハ事務局ニ對シ報告書ヲ諸國政府ニ送附シ其ノ情報及其ノ通告スルコトヲ希望スル意見ヲ求ムベキコトヲ指令スルト同時ニ事務局ニ對シ第十七回總會ノ討議ノ爲更ニ準備スベキコトニ付若干ノ訓令ヲ與ヘタルガ特ニ理事會ハ總會ガ單ニ二回討議制ニ依ル第一次討議トシテ本問題ヲ處理スルカ又ハ本問題ヲ緊急ナリト認メ條約案又ハ勸告ノ形式ニ依リ第十七回會議ニ於テ最終的ニ決定ノ爲サルベキコトヲ豫想シテ之ヲ討議スルカヲ總會ノ自由ニ委ネ是等二ノ手續ノ中何レヲモ總會ノ決定スル所ニ從ツテ採擇スルコトヲ可能ナラシムル爲必要ナル一切ノ資料ヲ總會ニ提供スルコトヲ事務局ニ指令セリ。

仍テ事務局ハ第十七回總會ニ對シ灰色青色報告書ヲ提出セルガ右報告書ハ準備會議ノ報告書及諸國政府ニ依リ通告セラレタル意見ヲ載録シタル上總會ヲシテ何レノ手續ヲ採擇スルコトニ決定スベキカヲ審議セシムル爲具體的提案ヲ掲ゲタリ。而シテ是等ノ提案ハ一方ニハ總會ガ單ニ第一次討議ヲ爲スコトニ決定セシ場合ニ質問書ノ基礎トナルベキ諸點ノ表ノ形式ヲ採用シ他方ニハ總會ガ直チニ最終決定ヲ爲スコトヲ決定シタル場合ニ備フル爲三條約案及一勸告ノ草案ノ形式ヲ採用セリ。

斯クテ第十七回總會ニ於テハ劈頭ニ一般討議ヲ行ヒ使用者代表團(伊太利使用者代表ヲ除ク)ニ依

リテ提出セラレタル豫備的問題即チ本問題ハ條約案又ハ勸告ノ題目ト爲スニ適スルヤ否ヤノ問題及第一次討議カ又ハ最終討議カノ問題ヲ決定スルコトトナレルガ總會ハ本問題ガ條約案又ハ勸告ノ題目ト爲スニ適スルコト及第十七回總會ニ於テハ單ニ第一次討議ヲ爲スベキコトヲ決定セリ。

次デ總會ハ一九三三年六月十三日ノ第九次會議ニ於テ本問題ヲ右ノ方針ニ基キテ審議報告セシムル爲七十五名(政府、使用者及労働者代表各二十五名宛)ヨリ成ル委員會ニ之ヲ附託セリ。

委員會ニ於テハ灰色青色報告書ノ關係部分ヲ其ノ討議ノ基礎トシ且八回ノ會合ヲ重ネタル後次回總會ニ於ケル第二次討議ノ爲諸國政府ニ諮問スベキ諸點ヲ結論案ノ形式ヲ以テ指示セルモノヲ添附セル報告書ヲ總會ニ提出セリ。

斯クテ該報告書及之ニ添附セル結論案ハ總會ニ於テ無修正ニテ採擇セラレ次デ總會ハ前述ノ如ク労働時間短縮問題ヲ第十八回會議ノ議題ニ上程スルコトニ決定セリ。

## 一、第十七回總會ニ提出セラレタル労働時間短縮ニ關スル委員會ノ報告書



労働時間短縮問題ガ第十七回總會ノ議題ニ上程セラレタル特別ノ事情ニ付テハ國際労働事務局ニ依リ總會ニ提出セラレタル本問題ニ關スル灰色青色報告書ノ緒言ニ記載シ置ケルヲ以テ茲ニハ單ニ失業ノ不斷的增加乃至ハ其ノ繼續及之ニ基因スル困窮ニ鑑ミ伊太利政府代表「デ、ミケリス」氏ヨリノ理事會會長宛書翰ニ從ヒ本問題ヲ討議スル爲國際労働機關ガ一九三二年七月ニ緊急手續ヲ採ルニ至レルコトヲ想起スレハ可ナリ。而シテ右ノ措置ハ一九三三年一月ニ三部制準備會議（右會議ノ討議ハ農業又ハ海上労働ヲ包含セザリキ）ヲ招集シ及第十七回總會ノ議題トシテ「労働時間ノ短縮——三部制準備會議ノ報告書」ヲ附加スルニ至ラシメタリ。尙理事會ハ三部制準備會議ノ報告ヲ受理シタル時事務局ニ對シ灰色青色報告書ノ作成ヲ指令セリ。

總會ニ於テハ一般討議ノ後先ツ議事規則第六條第五項ニ從ヒ労働時間短縮問題ハ條約案又ハ勸告ノ題目ト爲スニ適スルモノナルコトヲ二十六票對九十五票ヲ以テ決定セリ。次デ總會ハ五十五票對六十九票ヲ以テ緊急手續即チ一回最終討議手續ヲ採用スベシト爲ス提案ヲ否決シ仍テ總會ハ二十二票對八十六票ヲ以テ通例ノ二回制討議手續ヲ適用スルコト即チ第十七回總會ニ於テハ諸國ニ諮問スベキ諸點ヲ決定シ翌年右諮問ニ照ラシテ本問題ニ關シテ更ニ執ルベキ措置ヲ考慮スルコトトナレリ。

仍テ總會ハ質問書ノ基礎トナルベキ諸點ヲ審議セシムル爲本問題ヲ委員會ニ附託セリ。尙ホ總會議長ハ英吉利政府代表ノ意見ヲ考慮シテ質問書ノ範圍ニ關シテハ何等ノ制限ヲモ置カズ以テ諸國政府ヨ

リ能フ限り充分ニ情報ヲ得ラルル様ニ質問書ヲ起草スルコトヲ得ベキ旨ノ保證ヲ與ヘタリ。

#### 委員會ノ委員及役員

右ノ如クシテ總會ニ依リ其ノ第九次會議ニ於テ設置セラレタル労働時間短縮ニ關スル委員會ハ七十五名即チ政府、使用者及労働者ノ代表者夫レ夫レ二十五名ヲ以テ構成セラレタリ。

委員會ニ於テハ其ノ役員ヲ左ノ如ク任命セリ。

委員長 「アルゼンチン」政府代表「ブルリツク」

副委員長 和蘭使用者代表「コルト、ヴァン、デル、リンデン」

佛蘭西労働者側顧問「シユヴァルム」

報告委員 伊太利政府代表「アンセルミ」

起草委員 英吉利政府代表「レゲット」

佛蘭西使用者側顧問「ワリース」

英吉利労働者側顧問「ホールズワース」

委員會ハ前後八回ノ會合ヲ重ネタリ。

#### 委員會ノ議事



委員會ニ於テハ先ヅ三部制準備會議及總會本會議ニ於ケル討議ニ鑑ミ一般討議ヲ行フ必要ナシト認  
メ直チニ灰色青色報告書第四章ニ記載セラレタル諸點(或ル點ニ關シテハ第五章ニ於テ敷衍補足セラ  
レタリ)ノ審議ニ移レリ。

議事ノ劈頭ニ於テ使用者側ハ六月十三日ノ總會本會議ニ於テ既ニ宣言シタル如ク使用者側ガ委員會  
ノ事業ニ參加スルコトヲ決定セル事實ハ本問題ニ對スル其ノ態度ヲ變更シタルモノナルコトヲ毫モ意  
味スルモノニ非ズ而シテ其ノ態度トハ六月十日ノ本會議ニ於テ伊太利使用者代表ヲ除ク全使用者團ノ  
名ヲ以テセル聲明(註)ニ於テ明言セル處ナル旨ヲ述ベタリ。

(註) 使用者側ノ聲明ノ趣意ハ左ノ如シ。

使用者代表團(伊太利使用者代表ヲ除ク)ハ勞働者ノ狀態ヲ改善スル爲メ社會的措置トシテ提案セラレタルニ非ズシテ失業者  
ヲ吸收シ且不況ヲ緩和スル手段トシテ提案セラレタル一週四十時間案ニハ賛成シ難キコトヲ確信ス。使用者團ハ一九三二年總  
會乃至ハ準備會議ニ於テ發表セル異議ニ對シテ未ダ何等適切ナル回答ヲ得ズ。各個ノ設備ニ於ケル勞働時間ノ自發的適應ハ多  
クノ場合ニ於テ是等ノ措置ノ弾力性及可動性ニ依リ筋肉勞働者及非筋肉勞働者ヲ引續キ使用スルコトヲ得シメタルモ斯ル措置  
チ一般的且強制的ナラシムル企圖ハ重大ナル混亂ヲ惹起シ且雇傭ノ量ヲ減少スル結果トナルベシ。況ヤ生産ノ正常ナル要件ハ  
何タルヤ現在ニ於テハ豫見スルコト不可能ナルヲ以テ右規律ヲ恒久的ナラシムルコトハ經濟的活動ノ復興ニ果チ及ボス一層  
大ナル困難ヲ惹起スベシ。尙一層重大ナルハ賃銀ノ維持ハ不可避的ニ生産費ヲ増加シ之ヲ補足スル何等ノ手段モアリ得ザルニ  
至ラシムル明白ナル事實ナリトス。右ハ生活費ヲ増加シ大衆ノ購買力ヲ減少スベシ。又工業及農業ノ不均衡モ増大スベク且假  
令右ノ措置ガ國際的ニ實施セラレルトモ各國間ニ新タナル不平等ヲ惹起スベク斯クテ國際貿易ノ發達ヲ阻害スベシ。加之生産

ニ對スル負擔ノ増加ハ唯ダ性急且不自然ナル狀態ニ於テ機械化ヲ促進スルコトヲ得ルノミニシテ右ハ失業ヲ増加スル虞アリ。  
失業問題ノ眞ノ解決策ハ倫敦ノ貨幣及經濟會議ニ依リ審議セラレベキ一般的ノ財政的及經濟的紊亂ニ對スル救済策——右救済  
策ハ信用及正常ノ經濟活動ノ恢復ヲ齎ラスベシ——ニ於テ之ヲ見出し得ベシ。灰色青色報告書ニ提案セラレタル條約案ヲ作成  
スルノ可能性ニ關シテハ使用者團ノ意見トシテハ勞働時間ノ短縮ハ失業ヲ救済シ又ハ現在ノ危機ヲ緩和スルコトヲ得ザルベク  
從テ本問題ハ條約案又ハ勸告ノ題目ト爲スニ適セズト思惟ス。サレバ使用者團ハ議事規則第六條(第五項)ニ從ツテ總會ガ其  
ノ劈頭ニ於テ本問題ハ條約案ノ題目ト爲スニ適スルヤ否ヤヲ決定スベキコトヲ要求ス。

### 一、序文ノ作成

委員會ハ第二次會議ニ於テ夫々英吉利政府代表及使用者側ニ依リ提出セラレ且灰色青色報告書ニ包  
含セラレル諸點ノ初メニ關係アル重要ナル二個ノ修正案ニ直面セルガ右修正案ハ委員會ガ諸國政府ニ  
諮問スル爲提案スルコトヲ得ル諸點ノ範圍ハ決シテ制限セラレザルコトノ保證ヲ基礎トスルモノニシ  
テ次ノ如シ。

#### 英吉利政府代表提出ノ修正案

- 「一般の問題」ナル表題ノ後及第一項ノ前ニ以下ヲ挿入スベシ。
- (一) 全勞働時間ニ對スル所得ヲ維持スル勞働時間短縮ノ履備及失業ニ及ボス效果。
- (二) 勞働セラレル時間數及(イ)設備ニ於ケル一切ノ勞働者ニ對スル一週勞働時間ノ短縮ニ依リ又ハ(ロ)全勞働時間内ニ於ケル勞働者  
ノ交替ニ依リ勞働時間短縮ノ實施セラレル程度



使用者側提出ノ修正案

使用者側ハ生産費從ツテ生活費ヲ増加スルコトナクシテハ労働時間ノ強制的短縮ヲ採用スルノ不可能ナルコトニ關スル其ノ意見ヲ維持スルト共ニ本問題ガ來年度ノ議題ニ上リタル場合ニ總會ガ充分ナル資料ヲ入手スルコト緊要ナリトス。仍テ使用者側ハ以下ノ諸點ヲ質問書ノ冒頭ニ挿入スベキコトヲ要求ス。

一、左記ニ關スル事情

(イ) 被傭者數及失業者數

(ロ) 現行ノ一週労働時間及右ガ通常ノ一週労働時間ヨリモ短キ程度

(ハ) 現行ノ一週労働時間が通常ノ一週労働時間ヨリモ短キ限り現在採用セラルル時間短縮方法及其他

(ニ) 季節的産業

二、労働時間ヲ一週四十時間ニ短縮スルコトガ左ノ場合ニ從ヒ雇傭ヲ増加シ又ハ減少スル上ニ及労働市場ニ及ボスベキ效果

(イ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ時間短縮ニ比例シテ増加セラルル場合

(ロ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ増加セラレザル場合

三、生産費及一般國民經濟ガ左ノ場合ニ從ヒ影響ヲ受クベキ程度

(イ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ時間短縮ニ比例シテ増加セラルル場合

(ロ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ増加セラレザル場合

四、労働時間短縮ガ社會保險組織ニ及ボス影響

五、労働時間ヲ一週四十時間ニ短縮スルコトノ技術的可能性

南阿政府代表ハ英吉利政府代表ノ修正案ニ對シ右修正案ノ二項ノ間ニ左記ヲ挿入スベシトスル修正案ヲ提案セリ。

「労働時間短縮ノ效果ガ雇傭ヲ減少シ又ハ減少スル虞アリト認めラルル産業ニ於テハ其ノ誘因ヲ成ス一般的又ハ特殊ノ事情及其ノ效果ヲ緩和スルニ必要ナルベキ措置」。

南阿政府代表ハ多年ニ互リ行ハレ來レル産業革命ノ兇惡性ハ充分理解セラレ居ラズ産業ノ依存スル經濟的要件ノ内或ルモノハ遠カラズ變化スル可能性アリ斯ル事情ノ下ニ於テ諸國政府ニ對シ他ノ條件ハ不變ナリトノ假定ノ下ニ單ニ労働時間短縮ノ效果ヲ諮問スルハ充分ナラズト思惟スル旨ヲ述ベタリ。

英吉利政府代表ハ前記ノ南阿政府代表ノ修正案ヲ受諾シタル後英吉利政府代表トシテハ其ノ修正案ニ關スル限リニ於テハ更ニ一層調査ノ餘地アル本問題ノ各方面ヲ考慮スルニ非ザレバ労働時間短縮問題ハ何等之ヲ進捗セシムルヲ得ズ尙又英吉利政府代表ノ提案ニ係ル修正案ニ於テ取扱ハレ且使用者側ノ修正案ニ依リテモ包含セラルル諸點ヲ能ク限リ充分ニ調査セズシテハ責任アル政府ハ一週四十時間ノ政策ヲ約スルコトヲ得ズト思惟スル旨ヲ述ベタリ。

使用者側ハ其ノ修正案ノ目的ハ労働時間ノ強制的短縮問題ノ眞ニ根本的ナル方面即チ技術的及經濟的方面ニ諸國政府ノ注意ヲ喚起シ且列舉シタル諸點ニ關シテ諸國政府ヨリ充分ナル資料ヲ得ルニ在ル旨ヲ説明セルガ其ノ意見ニ依レバ右資料ハ輿論ノ涵養ノ爲及來年度總會ノ爲緊要ナルモノニシテ如何ナル場合ニモ諸國政府ガ條約案ノ起草ヲ企圖シ得ルニ先立ツテ蒐集セラルベキモノナリト云フニ在



労働者側ハ上述ノ諸修正案ガ問題ヲ回避シテ最終解決ヲ遅延セシムル虞アルヲ憂慮シテ之ニ反対セリ。労働者側ハ使用者側ガ蒐集センコトヲ希望スル資料ヲ危惧スルモノニ非ズ且右資料ガ正確ナルトキハ明白ニ有益ナルベキコトヲ認ムルモ此ノ點ニ付何等ノ保證モ存在セズト爲シ更ニ右資料ガ其ノ議論ヲ確固タラシムルコトハ確信スルモ質問書ハ右資料ヲ蒐集スル適當ナル手段ニ非ズ危険ハ是等ノ修正案ガ長期ニシテ廣般ナル調査ヲ誘致スル虞アル點ニ存ス而シテ労働者側ハ來年迄ニ右調査ガ終結セザル場合ハ右ガ條約案作成ヲ遅延セシムルノ口實トナル虞アルコトヲ恐ルルモノナリト爲セルガ結局其ノ意見ニ依レバ灰色青色報告書ニ包含セララル諸點ハ右追加資料ヲ要セズシテ諸國政府ヨリ回答ヲ得ラルベシト云フニ在リ。

佛蘭西政府代表ハ英吉利政府代表及使用者側ノ提出ニ係ル修正案ハ委員會ノ討議ノ範圍外ニ非ザルヤ疑問ナリ更ニ右修正案ガ來年度總會ニ於テ條約案又ハ勸告ノ討議ヲ容易ナラシムベキ質問書ニ挿入セララルニ適當ナルヤ否ヤ疑問ナリ兎モ角モ是等ノ修正案ハ質問書ヲ複雑化シ且斯クノ如キ大部ノ資料ノ蒐集ハ困難ニシテ多大ノ時間ヲ要スベシトセリ。

茲ニ於テカ白耳義政府代表ハ使用者側ノ修正案ニ對スル妥協案トシテ結論案ノ序文ニ左ノ如ク挿入スベキ旨ヲ提案セリ。

「總會ハ使用者側ニ依リ提起セラレタル諸點ニ回答スルカ又ハ灰色青色報告書中ノ諮問事項案第三ノ二(註)(技術的失業)ニ基キ提案セララル決議ニ從ヒ措置ヲ執ルカ依リ適當ナル時機ニ且可能ナル限り右諸點ニ關スル意見又ハ資料ヲ通告スルコトヲ諸國政府ニ建議スルコト望マシト思考ス」。

(註) 諮問事項案第三ノ二ハ左ノ如シ。

「勸告又ハ決議ノ採擇ニ依リ國際労働事務局ニ技術的失業ニ關スル情報ヲ送付スルコトヲ各國政府ニ建議スルノ望マシキコト若シ必要ナラバ斯ル情報ノ蒐集及送達ノ爲採用セララルベキ最善ノ方法ノ指示」。

白耳義政府代表ノ意見ニ依レバ右ノ提案ハ使用者側ノ修正案ノ目的トスル處ヲ確保スルト同時ニ提案セラレタルガ如キ調査ハ諸國政府ヲシテ一切ノ關係諸點ニ回答スルコトヲ困難ナラシムルノ事實ヲ考慮スル外條約ノ採擇ヲ遲滞セシムル虞アリトスル労働者側ノ異議ニモ副ヒ得ベク尙右提案ハ英吉利及南阿政府代表ノ修正案ヲモ包含スルコトヲ得ベシト云フニ在リ。

右提案ハ伊太利政府代表ノ支持スル所トナレルガ同代表ハ提案セラレタル多數ノ點ニ回答スルノ實際的可能性ニ關シ充分ナル餘地ヲ諸國政府ニ殘シ置クノ必要ヲ強調セリ。又和蘭使用者代表ハ使用者側ト労働者側トハ上述ノ提案ノ趣旨ニ從ヒテ一致點ヲ見出シ得ベシト思考スト述ベタリ。又労働者側ニ於テハ若シ要求セラレタル調査ガ來年度總會ノ事業ヲ妨害セザルコトノ保證ヲ得バ使用者側ニ満足ヲ與フル何等カノ手段ヲ考慮スルコトニ反対セザルベシト述ベタリ。

茲ニ於テ局長ハ白耳義政府代表ノ提案ヲ基礎トシテ一般承認ヲ得ベキ草案ヲ起草セシムル爲上記ノ



三修正案ヲ起草委員會ニ附託スベキコトヲ提案シ更ニ來年度總會ニ提出スベキ報告書ニ挿入スル爲間ニ合ヒタル資料ガ假令不完全ナリトスルモ右ハ來年更ニ措置ヲ執ルコトニ反對スル論據トシテ利用セラルベキニ非ズト思惟スル旨ヲ述ベタリ。

斯クテ委員會ハ起草委員會ニ對シ序文案ヲ作成スルコトヲ指令シ起草委員會ハ使用者側ノ修正案ニ含マルル諸點ノミナラズ又他ノ二個ノ修正案ニ於テ提起セラレタル諸點ヲ具體化セル序文ヲ提出スル處アリ。而シテ右序文案ハ若干ノ委員ノ提案ニ基キ若干ノ修正ヲ加ヘラレタルガ其ノ最後ノ形式ハ本報告書ニ添附セラレタル結論案(第二十七頁參照)ノ(甲)ニ掲ゲラルル處ナリ。尙労働者側ハ依然トシテ要求セララルル資料ガ來年度總會前ニ入手セララルルニ非ザレバ爾後ノ措置ヲ遲滯セシムル危險アリトノ意見ヲ以テ本序文案ニ反對投票ヲ爲スベキ旨ヲ聲明セリ。

### 二、灰色青色報告書ニ掲ゲラレタル諸點ノ審議

一、今便宜上灰色青色報告書ニ掲ゲラレタル諸點ヲ示セバ左ノ如シ

#### 灰色青色報告書ニ掲ゲラレタル諸點

##### 第一、一般的問題

一、條約案ノ形式ニ於テ失業救済策トシテノ労働時間短縮ニ關スル國際的規律ヲ作成スルノ可否若シ回答ニシテ否定的ナラバ勸告ヲ作成スルノ可否

二、規律ノ性質

(イ) 短期間ノ規律又ハ他ノ國際條約ニ於テ定メララルル規律ニ通常定メララルト同一ノ期間ノ規律

(ロ) 條約ニ依リ定メララルル制限ノ嚴格ナル遵守ト兩立スル限リ自由ニ労働時間ヲ按配スル方法ヲ選擇スルコトヲ許スガ如キ方法ニ於テ起草セララルル規律又ハ一定ノ一週ノ制限ノ嚴格ナル遵守ヲ意味スル規律

三、(イ) 炭坑ヲ包含セル工業的企業並ニ商業的及類似ノ設備又ハ此等ノ活動部門ノ一若ハ二以上ニ適用スル單一ノ條約ノ作成又ハ

(ロ) 一ハ炭坑ヲ包含セル工業的企業ニ他ハ商業的及類似ノ設備ニ適用スル二個ノ條約ノ作成又ハ

(ハ) 第一ニ工業的企業ニ第二ニ炭坑ニ並ニ第三ニ商業的及類似ノ設備ニ適用スル三個ノ條約ノ作成又ハ

(ニ) 各々一定ノ産業、職業又ハ活動部門ニ適用スル若干ノ條約ノ作成

(左ノ諸點ハ單一ノ條約ニ又ハ諸條約ノ各々ニ全體トシテ又ハ各別ニ關係スルモノナリ)

### 第二、規律ノ内容

#### 一、適用範圍

(イ) 従業員ガ規律ニ依リ包含セララルル設備ノ指示(一九三〇年ノ商業及事務所ニ於ケル就業時間ニ關スル條約ヨリ除外セララル設備ノ従業員ヲ包含セシムル爲規律ヲ擴張スルコトヲ特ニ考慮シテ)

(ロ) 従業員ガ規律ノ適用ヨリ明確ニ除外セララル設備又ハ企業ノ指示、即チ農業的企業、内地水路ニ於ケル運送企業、同一ノ家ニ屬スル者ノミテ使用スル設備其ノ他

(ハ) 使用セララル者ノ數又ハ或ル他ノ標準ヲ基礎トシテ小設備ニ對シ規律ヲ適用スルコトニ關スル特別規定

(ニ) 規律ヨリ除外セララル者又ハ除外セララレ得ベキ者ノ指示即チ

監督若ハ管理ノ地位ヲ占ムル者又ハ機密ノ事務ニ使用セララル者

除外セララレ得ル者ノ數ヲ全従業員ノ一定割合ニ制限シ又ハ除外セララルベキ者ノ種類ノ表ヲ示スコトノ望マシキコト



二、労働時間

(イ) 労働時間の定義

(ロ) 労働時間の制限、即チ

一週ニ付四十時間(尤モ規律ニ定メラルベキ例外ニ從ヒ)且性質上繼續的ニ行フコトヲ要スル勞務ニ對シテハ一週ニ付四十二時間ノ平均労働時間チ一般原則トシテ定ムルノ望マシキコト  
他ノ制限ヲ設クルノ可能性

炭坑ニ對シ特別ノ一週ノ平均ヲ定ムルノ望マシキコト(右ノ平均數字ハ何ナルヤチ指示シテ)

(ハ) 平均一週労働時間ガ算定セラルベキ期間

(ニ) 労働時間ヲ短縮スル場合ニ工業的企業、炭坑並ニ商業及事務所ニ於ケル労働時間ニ關スル現在ノ條約ニ定メラルル一日及一週ノ制限ヲ遵守スルノ望マシキコト

(ホ) 規律ノ本文ニ於テ規律ニ依リ定メラルル制限内ニ於テ労働時間ヲ按配スル爲採用セラルベキ方法ヲ指示スルノ望マシキコト、即チ

是等ノ方法並ニ或ル方法ノ利用ガ惹起スルコトアルベキ弊害ヲ防止スル爲必要ナル保障ノ指示

三、或ル産業又ハ活動部門ニ對スル特別制度

(イ) 左記ノモノノ要件ニ適應スル爲規律ノ構成内ニ於テ特別規定ヲ設クルノ望マシキコト——且然リトセバ其ノ特別規定如何運送業(道路及他ノ運送方法ヲ各別ニ考慮シテ)

他ノ産業又ハ産業部門

(ロ) 別個ノ條約ニ依リ又ハ一般工業ニ關スル條約ニ挿入スルコトニ依リ炭坑ニ關シ特別規定ガ設ケラルベシトセバ一九三一年ノ労働時間(炭坑)條約ノ標準條項以外ノ一切ノ規定(尤モ各個ノ在坑時間ノ短縮ヲ齎ラス爲必要ナルベキ變更ノ留保ノ下ニ)

ヲ維持スルノ望マシキコト

四、新雇傭ノ創設ニ對スル保障

生産高ヲ維持シ又ハ増加スルト同時ニ労働時間ノ短縮ノ結果トシテノ新労働者ノ雇入ニ對スル保障ヲ確立スルノ望マシキコト並ニ新雇傭ノ性質

五、例 外

(イ) 左記ニ付例外ヲ設クルノ望マシキコト

現實ナル若ハ急迫セル災害ノ場合、機械若ハ装置ニ對シ施サルベキ緊急作業ノ場合又ハ不可抗力ノ場合、尤モ當該企業ノ通常ノ操業ニ對スル重大ナル障礙ヲ除去スルニ必要ナル限リニ於ケルモノトス

準備的及補充的作業ノ爲並ニ作業ガ本質上間歇的ナル或種ノ労働者ノ爲

此等ノ附加的時間ニ對スル制限及關係アルベキ従業員ノ最大ノ割合ヲ設クルノ望マシキコト  
經濟的必要ニ應ズル爲

此ノ目的ノ爲許與セラルル超過時間ニ對シ數的制限ヲ定ムルノ望マシキコト——産業ノ全體ニ對シ一般制限ヲ定メ又ハ定メラルベキ條件ニ從ヒ各産業若ハ産業部門ニ對スル超過時間ノ最長限度(一般最長限度ノ留保ノ下ニ)ヲ定ムルノ望マシキコト部分的ニ分タルベキ超過時間ノ許與ヲ設ケ且各部分ヲ特別ノ條件ニ從ハシムルノ望マシキコト且然リトセバ條件如何超過時間ニ對スル割増報酬、即チ割一的報酬率又ハ過増率並ニ之等ノ率ノ設定

(ロ) 小設備ニ對シ特別規定ヲ設クルノ望マシキコト

超過時間ノ許與及附加的報酬ノ特別率(之アルトキハ)ノ設定及特別ノ取極メ

六、實施及監督ニ關スル措置

左記ノモノニ對シ或ル義務ヲ課スルノ望マシキコト



使用者ニ對シ

次ノモノニ關スル揭示ヲ爲スコト、即チ實施セラルル勞働時間ノ按配制度及其ノ適用ニ關スル規定、始業及終業ノ時刻並ニ勞務ガ交替制ニ依リ行ハルル場合ニハ各組ノ始業及終業ノ時刻、勞働時間ノ一部ト看做サレザル休憩時間實行セラルル一切ノ附加的時間及必要ナラバ支拂ハルル報酬率ヲ記錄スルコト

締盟國ニ對シ

第四百八條ニ從ヒ提出セラルベキ情報

七、條約ノ地域的範圍

各條約ガ左記ニ依リ適用セラルルコトノ望マシキコト

國際勞働機關ノ一切ノ締盟國ニ依リ

國際機關ノ非締盟國ニ依リ(定メラルベキ特別手續ニ依リ)

八、或ル國ニ對スル特別制度

或ル國特ニ亞細亞諸國ニ對シ特別規定ヲ許與スルノ望マシキコト——且然リトセバ其ノ規定如何

九、條約ノ效力發生

(イ) 各條約ノ效力ヲ發生セシムルニ必要ナル批准數ノ設定

(ロ) 國際聯盟事務總長ガ必要ナル批准數ヲ登錄シタル後各條約ガ效力ヲ發生スル期間ノ長サノ設定

十、條約ノ期間

(イ) 條約ノ廢棄

條約ヲ批准シタル締盟國ガ之ヲ廢棄シ得ベキ期間ニ付國際勞働條約ニ於テ通常規定セラルルヨリモ恐ラク一層短キ期間ノ設定

政府ガ其ノ發意ヲ以テ條約ヲ廢棄スルノ可能性又ハ之ヲ廢棄スルコトノ團體的決定ノ必要性  
(ロ) 條約ノ改正

各條約ヲ全部又ハ一部改正シ得ベキ期間ニ付國際勞働條約ニ於テ通常規定セラルルヨリモ恐ラク一層短キ期間ノ設定

第三、其ノ他ノ諸問題

一、賃金及生活標準

勞働時間短縮ノ爲メ規律ノ本文ニ於テ又ハ別個ノ條約若ハ勸告ニ於テ賃金又ハ生活標準ノ維持問題ヲ考慮スルコトヲ各國政府

ニ勸告スルノ望マシキコト

二、技術的失業

勸告又ハ決議ノ採擇ニ依リ國際勞働事務局ニ技術的失業ニ關スル情報ヲ通告スルコトヲ各國政府ニ建議スルノ望マシキコト  
若シ必要ナラバ斯ル情報ノ蒐集及送達ノ爲採用セラルベキ最善ノ方法ノ指示

二、右諸點ノ審議

第一、一般の問題

第一項 (規律ノ形式及基準)

本項ニ關シテハ左ノ修正案ノ提出アリタリ。

英吉利政府代表ノ提出ニ係ル修正案

(一) 第一行中「可否」ノ次ニ「及可能性」ナル字句ヲ挿入スルコト

(二) 第一行中「勞働時間短縮」ノ前ニ「全勞働時間ニ對スル所得ノ維持ヲ伴フ」ナル字句ヲ挿入スルコト

亞爾然丁政府代表ノ提出ニ係ル修正案



第一項及第二項ノ間ニ左ノ通り挿入スルコト

「現在ノ失業ガ合理化ニ依リテ惹起セラレルコトアルベキ設備ニ於ケル失業救済策トシテノ労働時間ヲ短縮スル爲メノ國際規律ヲ條約ノ形式ニ依リ作成スルコトノ可否」

佛蘭西政府代表ノ提出ニ係ル修正案

「失業救済策トシテノ」次ニ左ノ字句ヲ挿入スルコト

「及労働者ガ技術的進歩ノ便益ニ與ルコトヲ確保スル手段トシテノ」

英吉利政府代表ノ第一修正案ハ撤回セラレタリ。

亞爾然丁政府代表ノ修正案ハ之レ亦質問書ニ添付スル註釋ニ於テ該修正案ニ包含セラレタル原則ニ言及スベキコトヲ條件トシテ撤回セラレタリ。

佛蘭西政府代表ノ修正案ハ労働時間短縮問題ハ單ニ失業緩和ノ手段トシテノミナラズ尙亦労働者ハ其ノ個人的進歩ノ爲一層大ナル閑暇ヲ得ルコトニ依リ技術的進歩ノ便益ヲ與ヘラルベキナリトノ見地ヨリ審議セラルベシト爲ス見解ニ基クモノナルガ右修正案ハ二十二票對四十票（棄權三票）ヲ以テ採擇セラレタリ。使用者側ハ表決ニ先チ労働者ガ從來技術的進歩ノ便益ニ與リタルコトナシト爲セルコトヲ否定シ右追加ハ全然問題全部ノ性質ヲ變更スベシトノ見解ヲ表明セリ。

英吉利政府代表ノ第二修正案ハ全労働時間ニ對スル所得ヲ維持シツツ労働時間ヲ短縮スルコトニ關スル規律ノ可否問題ヲ提起シ著シキ論議ヲ惹起セリ。

右修正案ノ提案者ハ其ノ目的トスル處ハ賃銀維持ノ問題ヲ質問書ノ最前部ニ置クニ在ル旨ヲ説明シ

本問題コソハ實ニ英吉利労働者ガ依ツテ以テ労働時間短縮問題ニ接近シ得ル一切ノ基礎ニシテ之ヲ他國ニ徵スルモ異ル所ナキハ疑ヲ容レズ且右コソハ問題ノ核心ニ觸ルルモノナリ灰色青色報告書ノ諸點ノ「リスト」ニ於テ爲サレタル如ク賃銀ヲ全ク労働時間ヨリ分離スルハ正鵠ヲ失スルモノニシテ諸國政府ニ對シ質問書ノ冒頭ニ於テ労働時間問題ハ賃銀維持ノ立場ヨリ取扱フベキヤ否ヤノ問題ヲ明確ニ提起スルコト緊要ナリト述ベタリ。

労働者側ニ於テハ一週ノ賃銀又ハ一月ノ給料ノ切下ゲナシノ時間短縮ニ關スル條約ノ可否ニ付諸國政府ノ意見ヲ徵スルコトヲ希望スル旨説明スル處アリタルモ委員中ニハ又賃銀又ハ給料ニ關係ナキ條約ノ可否ニ關シテモ諸國政府ノ意見ヲ徵スルコトヲ希望スル者數名アリタル爲英吉利政府代表ノ修正案及各委員ノ表明セル各種ノ希望ヲ考慮スベキ統一の本文ヲ得ルコトヲ目的トシテ全問題ヲ起草委員會ニ附託スルヲ可トスル旨ノ提案アリ。茲ニ於テ佛蘭西労働代表ハ事務局作成ノ諸點ノ「リスト」第三、第一項（賃銀及生活標準）ヲ第一第一項ノ次ニ挿入スベキ旨ヲ提案セリ。

仍テ委員會ハ是等各種ノ提案ニ基キ全問題ヲ起草委員會ニ附託シタルニ起草委員會ハ左ノ草案ヲ灰色青色報告書ニ於ケル諸點ノ「リスト」ノ第一第一項トシ從ツテ第三第一項ヲ削除スルコトヲ提案セリ。



一、條約ノ形式ニ於テ左ノ何レカニ基キ失業救済手段トシテノ及労働者が技術的進歩ノ便益ニ與ルコトヲ確保スル手段トシテノ労働時間短縮ニ關スル國際規律ヲ作成スルコトノ可否

(イ) 一週ノ賃銀及一月ノ給料ガ斯ル條約ノ採擇及實施ヨリ招來スル時間ノ短縮ニ依リ減額セラレザルベキコト又ハ  
(ロ) 一週ノ賃銀又ハ一月ノ給料ノ維持ニ關シ條約中ニ何等ノ規定ヲモ設ケザルコト

賃銀及給料ニ關スル條約ノ規定ノ有效ナル適用ヲ確保スル爲條約中ニ設クベキ規定  
條約ニ依ラザレハ勸告ヲ作成スルノ可否

賃銀及給料ニ關スル規定ヲ別個ノ條約又ハ勸告ニ挿入スルノ可否

生活標準ノ問題ヲ考慮スルノ可否

労働者側ハ右草案ヲ支持セリ。

使用者側ハ右草案ノ表決ニ當リ棄權セリ蓋シ右ハ使用者ノ反對シタル佛蘭西政府代表ノ修正案ニ依リ支配セラレバナリ。

右草案ハ四十票ヲ以テ滿場一致採擇セラレタリ。

## 第二項 (規律ノ性質)

本項ハ滿場一致ヲ以テ採擇セラレタリ。但シ伊太利労働者代表ハ短期間ノ條約ハ實行シ難キト共ニ現在ノ失業ノ主要原因タル技術的及機械的進歩ハ繼續的ニ新ナル失業ヲ増大シ且惹起セシメツツアルヲ以テ右ハ現實ノ情勢ニ即スルモノニ非ザル旨ヲ述ベタリ。

## 第三項 (一又ハ二以上ノ條約)

労働者側ハ質問書ノ範圍内ニ農業ヲ包含セシムル修正案ヲ提出セルガ右ニ關聯シテ理事會ガ議題タル本問題ノ範圍ヨリ農業ヲ除外セル事實ニ鑑ミ右修正案ヲ有效ナラシムルコト總會ニ取リテ可能ナリヤ否ヤノ問題ヲ生ゼリ。結局此ノ問題ハ事務局長ニ附託セラレ事務局長ハ總會ノ法律顧問ノ助言ニ依リ農業ガ議題タル本問題中ニ包含セララルコトヲ主張スルコト不可能ニシテ且總會ハ單ニ三分ノ二ノ多數決ニ依リテハ農業ニ於ケル労働時間問題ヲ來年度總會ノ議題ニ上程スルコト能ハズトノ意見ヲ述ベタリ。

右ノ意見ニ鑑ミ労働者側ノ修正案ハ議事規則ニ反スルモノト認メラレ仍テ労働者側ハ委員會ガ左ノ決議ヲ採擇スベキコトヲ提案セリ。

「労働者側ハ一月ノ準備會議ニ對シ其ノ提出セル決議ヲ確認スルト共ニ労働時間短縮ノ擴張ガ農業ニ關シ企圖セラレザリシコトヲ遺憾トス。

農業ニ於ケル労働條件ノ問題ハ國際労働機關ノ權限内ニ存スルヲ以テ労働者側ハ去ル一月ニ其ノ提出シタル決議ヲ調査シ且考慮セシコトヲ國際労働機關ニ要求ス」。

委員會ハ右決議案ニ關シテ何等ノ意見ヲモ表明スルコトナク之ヲ總會ノ決議案委員會ニ移牒スルコトヲ決定セリ。

斯クテ第三項ハ變更ヲ加ヘラルルコトナクシテ採擇セラレタリ。

## 第二、規律ノ内容



使用者側ハ本章ニ包含セラレタル諸點ニ關スル討議及投票ヲ爲サザリシガ蓋シ是等事項ニ於ケル一切ノ責任ヲ負フコトヲ回避セルヲ以テナリ。

本章ノ諸點ハ左記ノ變更ヲ條件トシテ滿場一致採擇セラレタリ。

- (一) 第一項(適用範圍) (ロ)號ニ於テ「即チ農業的企業、内地水路ニ於ケル運送企業、同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル設備其ノ他」ノ字句ヲ削除スルコトニ決定セラレタリ。右決定ハ亞爾然丁及諾威政府代表ノ提出ニ係リ動物ノ飼育及之ニ關係アル活動、一切ノ形式ノ運送竝ニ一年ニ付二月ヲ超エザル間操業セラルル企業ヲモ規律ヨリ除外スベシトセル修正案ニ付行ハレタル討議ノ結果ナリ。

- (二) 第六項(實施及監督ニ關スル措置)中ニ於テ亞爾然丁政府代表ノ提議ニ基キ使用者ニ課セラルベキ義務概要ノ末尾ニ「其ノ他ノ措置」ナル一項ヲ加フルコトニ決定セラレタリ。

尙事務局ハ質問書ニ添附スル註釋ニ左記ノ意見ヲ考慮スベキコトニ意見ノ一致ヲ見タリ。

- (一) 第一項(適用範圍) (ロ)號ニ關シテハ灰色青色報告書ニ於ケル本號ノ原案ニ記載アル企業又ハ設備(即チ農業的企業、内地水路ニ於ケル運送企業、同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル設備)ノミナラズ亞爾然丁及諾威政府代表ニ依リ提出セラレ且撤回セラレタル修正案ヲ考慮スル爲動物ノ飼育及之ニ關係アル活動、一切ノ形式ノ運送竝ニ一年ニ付二月ヲ超エザル間操業セラルル企業ニ言及スベキコト

要求セラレタリ。動物ノ飼育ニ關シテハ「チニコスロヴァキア」労働者代表ハ右労働ノ農業的方面ト工業的方面即チ食料罐詰業トノ間ニ區別ヲ爲スベシト述べタルガ其ノ意見ニ依レバ後者ノ種類ニ屬スル工業ハ本規律ノ範圍ヨリ除外セラルベキニ非ズト云フニ在リ。

同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル企業ニ關シテハ英吉利労働者代表ハ是等ノ企業ハ工業労働時間ニ關スル「ワシントン」條約ヨリ確然ト除外セラレアルニ反シ一九三〇年ノ商業及事務所條約ハ右ガ除外セラレベキヤ否ヤヲ決定スルコトヲ權限アル機關ノ裁量ニ委ネ居ルコトヲ指摘シ諸國政府ハ此ノ相違及他ノ企業トノ競争ニ鑑ミ是等ノ企業ノ問題ノ重要性ニ注意スベキナリトセラレタリ。

- (二) 第一項(ハ)號ニ關シテハ英吉利労働者代表ハ商業及事務所ノ分野ニ於ケル小設備ノ特殊の意義ニ言及スベキコトヲ要求セリ。

- (三) 第一項(ニ)號ニ關シテハ英吉利労働者代表ハ商業及事務所ニ關シテ第二段(監督若ハ管理ノ地位ヲ占ムル者又ハ機密ノ事務ニ使用セラルル者)ニ言及スベキコトヲ要求セリ。

右(ニ)號ニ關聯シテ諾威政府代表ハ上述ノ種類ノ者ニ「専門家」ヲ加フルコトヲ目的トシテ提案セル修正案ヲ撤回シタルガ同代表ハ特ニ熟練セル労働者ガ他ノ七八人ノ労働者ノ爲ニ材料ヲ準備シ且業務ガ特ニ熟練セル労働者ヲ新ニ雇傭スル程充分ニ非ザル爲四十八時間制ニ代フルニ四十時間制トスルコト困難ナルベキ工場ニ留意セシモノナル旨ヲ説明セリ。



(四) 第四項(新雇傭ノ創設ニ對スル保障)ニ關シテハ諾威政府代表ハ勞働時間ノ短縮ガ雇傭セララルル勞働者ノ數ノ増加ヲ伴フベク且單ニ設備ヲ改善スルコトニ依リテ補足セラレザルベキコトノ保障ヲ規定スルコトニ付勞働者ガ重要性ヲ置ケルニ鑑ミ諸國政府ニ對シ右目的ノ爲如何ナル保障ヲ提案スルカヲ指示スルコトヲ明確ニ要求スベキモノナル旨ヲ強調セリ。

(五) 第五項(例外)ニ關シテハ諾威政府代表ニ依リテ提案セラレ且撤回セラレタルイ)號ニ對スル修正案ニ基キ「損敗シ易キ物品又ハ製造中ノ製品ノ損失ヲ防止スル爲行フコトヲ要スル勞働」例ハ供給ガ不規則ニシテ且遲滯ナク處理スルコトヲ要スル魚ノ貯藏業ノ如キニ言及スベキモノナルコト要求セラレタリ。

同代表ハ又大ナレドモ人口稀薄ナル國及季節的產業ニ於テ或ル種ノ場合ニ生ズル超過時間ニ關スル特別ノ要件ヲ擧ゲ白耳義政府代表モ亦特別ノ要件ヲ有スル他ノ產業ニ注意ヲ喚起シ且當該產業ノ特殊種類ハ或ル產業又ハ産業部門ニ對スル特別制度ヲ規定スルコトノ可能性ニ關スル第三項(イ)號ノ末段ノ適用ヲ受クルコトヲ得トスベシトノ意見ヲ表明セリ。

諾威政府代表ハ尙超過時間ノ問題ハ調査不充分ナルコト及事務局ニ對シ特別調査ヲ爲スコトヲ要求スベク右ノ結果ハ來年度總會ニ提案ヲ提出スベキ專家委員會ニ移牒スベキコトノ意見ヲ述ベタリ。

(六) 第八項(或ル國ニ對スル特別制度)ニ關シテハ英吉利勞働者代表ハ三部制準備會議ニ於テ勞働者

代表及使用者代表ガ亞細亞諸國ニ對シ特別ノ取扱ヲ許スコトノ危險性ニ關シ表明シタル意見ニ諸國政府ノ注意ヲ喚起スベキコトヲ要求セリ。

尙第二項(勞働時間)ニ關聯シテ次ギノ點ガ提起セラレタルコトヲ附記スベキナリ。即チ英吉利勞働者代表ハ(ロ)號ノ末段即チ「炭坑ニ對シ特別ノ一週ノ平均ヲ定ムルノ望マシキコト(右ノ平均數字ハ何ナルヤヲ指示シテ)」ヲ削除スベシト提案セルガ蓋シ右末段ハ最長勞働時間ニ關スル一九三一年ノ炭坑條約ノ規定ヲ無効ニスル如キ方法ヲ以テ超過時間ヲ利用スルコトヲ提案スルコトヲ諸國政府ノ自由ニ委スルガ如ク思考セラレバナリ。

右提案ハ賛成二十七票反對二票ニテ定員數ニ達セズシテ採擇セラレザリキ。

表決ノ後第二項(ロ)號ハ超過時間ニ關スルモノニ非ズシテ其ノ目的ハ單ニ他ノ勞働者ニ付提案セララル一週四十時間ニ比較シテ鑛夫ニ付ヨリ短キ勞働時間ヲ設クルノ可否ニ關シ諸國政府ノ意見ヲ徵スルニ在ルコト説明セラレタリ。

### 第三、其他ノ諸問題

#### 第一項 (賃銀及生活標準)

前述セル如ク賃銀及生活標準ノ問題ハ第一章ニ移サレタリ。

#### 第二項 (技術的失業)



本項ニ關スル事務局草案ハ勸告又ハ決議ノ採擇ニ依リ技術的失業ニ關スル情報ヲ事務局ニ通告スルコトヲ諸國政府ニ懇願スルノ可否ニ關スルモノナルガ右ハ就中生産高及種々ノ時期ニ使用セラルル労働者數ヲ考慮スベキ旨ノ伊太利労働者代表ノ提案ヲ追加スルコトトシテ滿場一致採擇セラレタリ。右提案ノ目的ハ技術的失業ノ擴大ニ關スル明確ナル資料ノ蒐集ヲ促進スルニ在リ。

最後ニ委員會ハ灰色青色報告書ニ掲ゲラレタル諸點ノ「リスト」ニ新ニ左記ヲ附加スベシト爲ス佛蘭西政府代表提出ノ修正案ヲ審議セリ。

「灰色青色報告書」第五章ノ末尾ニ掲ゲラレタル草案ニ關シテ諸國政府ニ意見ヲ求ムルノ可否  
 特ニ是等ノ草案ガ企圖スル規律ノ目的ニ副フガ如キモノナリヤ否ヤ及是等ノ草案ニ付爲サンコトヲ欲スル變更アルトキハ右變更  
 ニ關シ諸國政府ノ意見ヲ徵スルコトノ可否

右修正案ノ目的ハ單ニ來年度總會ノ事業ヲ容易ナラシメ且促進スルニアル旨ノ説明アリ労働者側及玖馬政府代表ハ之ヲ支持セルモ英吉利政府代表及使用者團ハ本年ハ唯第一次討議ノミヲ開催セントスル總會ノ決定ニ鑑ミ右ハ適法ニ非ズトシテ之ニ反對セリ。右修正案ガ適法ナリヤノ疑問ニ鑑ミ佛蘭西政府代表ハ本報告書ニ其ノ旨ヲ言及スルコトヲ條件トシテ其ノ修正案ヲ撤回セリ。

委員會ハ其ノ事業ノ結果トシテ左ノ結論案ヲ總會ニ提出セリ。

結 論 案

總會ハ

失業救済策トシテノ労働時間短縮問題ニ關スル三部制準備會議ノ報告書及之ヲ基礎トセル國際労働事務局ノ灰色青色報告書ヲ審議シ且右問題ハ一若ハ二以上ノ條約案又ハ勸告ノ題目ト爲スニ適スルコトノ意見ヲ有スルヲ以テ

甲

國際労働事務局ニ對シ英吉利及南阿政府並ニ使用者側ヨリノ提案ヲ考慮シ總會議事規則第六條第六項ニ從ヒ各國ヲシテ適當ノ時期及可能ナル限度ニ於テ本問題ニ關スル其ノ意見及資料ヲ通告シ得シムル爲作成セラルベキ質問書ニ對スル序文トシテ左ノ諸點ヲ諸國政府ニ提出スルコトヲ要求ス

一、左ニ關スル事情

- (1) 被傭者及失業者ノ數
- (ロ) 現行ノ一週労働時間及右ガ通常ノ一週労働時間ヨリモ短キ程度
- (ハ) 平均一週労働時間ノ長サガ左ノ方法ニ依リ實際上短縮セラレタル程度
  - (1) 企業ニ於ケル一切ノ労働者ニ對スル一層短キ労働時間
  - (2) 企業ノ操業時間ガ不變ノモノトシテ輪番制度ノ適用又ハ
  - (3) 其ノ他ノ方法
- (ニ) 季節的産業
  - 二、労働時間ヲ一週四十時間ニ短縮スルコトガ左ノ場合ニ從ヒ雇傭ヲ増加シ又ハ減少スル上ニ及労働市場ニ及ボスベキ效果
    - (イ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ時間短縮ニ比例シテ増加セラルル場合
    - (ロ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ増加セラレザル場合
  - 三、一般的又ハ特殊ノ事情ニ依リ時間短縮ノ結果トシテ生産ズベキ産業ニ於ケル雇傭ノ減少ヲ緩和スルニ必要ナルベキ措置ノ指示
  - 四、(イ)生産費及(ロ)一般國民經濟ガ左ノ場合ニ從ヒ影響ヲ受クベキ程度



- (イ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ時間短縮ニ比例シテ増加セラルル場合
  - (ロ) 労働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率ガ増加セラレザル場合
- 五、労働時間短縮ノ社會保險ニ及ボス影響
- 六、労働時間チ一週四十時間ニ短縮スルコトノ技術的可能性

乙

國際労働事務局ニ對シテ左ノ諸點ヲ諸國政府ニ諮問スルコトヲ豫慮ス

第一、一般の問題

- 一、條約ノ形式ニ於テ左ノ何レカニ基キ失業救済策トシテノ及労働者が技術的進歩ノ便益ニ與ルコトヲ確保スル手段トシテノ労働時間ノ短縮ニ關スル國際規律ヲ作成スルノ可否
  - (イ) 一週ノ賃銀及一月ノ給料ガ斯ル條約ノ採擇及適用ヨリ招來スル時間ノ短縮ニ依リ減額セラレザルベキコト又ハ
  - (ロ) 一週ノ賃銀及一月ノ給料ノ維持ニ付條約中ニ何等ノ規定ヲモ設ケザルコト
- 賃銀及給料ニ關スル條約ノ規定ノ有效ナル適用ヲ確保スル爲條約中ニ設クベキ規定
- 條約ニ依ラザレバ勸告ヲ作成スルノ可否
- 賃銀及給料ニ關スル規定ヲ別箇ノ條約又ハ勸告ニ挿入スルノ可否
- 生活標準ノ問題ヲ考慮スルノ可否
- 二、規律ノ性質
- (イ) 短期間ノ規律又ハ
  - 他ノ國際條約ニ規定セラルル規律ニ通常定メラルルト同一ノ期間ノ規律
  - (ロ) 規律ニ依リ定メラルル平均一週ノ制限ノ嚴格ナル遵守ト兩立スル限リニ於テ自由ニ労働時間ヲ按配スル方法ヲ選擇スルコト

- トナ許スガ如キ方法ニ於テ起草セラルル規律又ハ
  - 一定ノ一週制限ノ嚴格ナル遵守ヲ意味スル規律
- 三、炭坑ヲ包含セル工業的企業並ニ商業的及類似ノ設備又ハ是等ノ企業及設備ノ或ルモノニノミ適用スル單一ノ條約ノ作成
- (イ) 炭坑ヲ包含セル工業的企業並ニ商業的及類似ノ設備ニ適用スル二個ノ條約ノ作成又ハ
  - 一ハ炭坑ヲ包含セル工業的企業ニ他ハ商業的及類似ノ設備ニ適用スル三個ノ條約ノ作成又ハ
  - (ロ) 第一ニ工業的企業ニ、第二ニ炭坑ニ並ニ第三ニ商業的及類似ノ設備ニ適用スル三個ノ條約ノ作成又ハ
  - (ハ) 第一ニ工業的企業ニ、第二ニ炭坑ニ並ニ第三ニ商業的及類似ノ設備ニ適用スル三個ノ條約ノ作成又ハ
  - (ニ) 各々一定ノ産業、職業又ハ活動部門ニ適用スル若干ノ條約ノ作成
- (以下ノ諸點ハ單一ノ條約ニ又ハ諸條約ノ各々ニ全體トシテ又ハ各別ニ關係スルモノナリ)

第二、規律ノ内容

一、適用範圍

- (イ) 従業員ガ規律ニ依リ包含セラルル設備ノ指示(一九三〇年ノ商業及事務所ニ於ケル就業時間ニ關スル條約ヨリ除外セラルル設備ノ従業員ヲ包含セシムル爲規律ヲ擴張スルコトヲ特ニ考慮シテ)
  - (ロ) 従業員ガ規律ノ適用ヨリ明確ニ除外セラルベキ設備又ハ企業ノ指示
  - (ハ) 使用セラルル者ノ數又ハ或ル他ノ標準ヲ基礎トシテ小設備ニ對シ規律ヲ適用スルコトニ關スル特別規定
  - (ニ) 規律ヨリ除外セラルル者又ハ除外スルコトヲ許容セラルベキ者ノ指示
- 監督又ハ監理ノ地位ヲ占ムル者又ハ機密ノ事務ヲ處理スル者
- 除外セラルベキ者ノ數ヲ該設備ノ全従業員ノ一定割合ニ制限シ又ハ除外セラルベキ者ノ種類ノ表ヲ掲グルコトノ可否

二、労働時間

- (イ) 労働時間ノ定義
- (ロ) 労働時間ノ制限



一週ニ付四十時間(尤モ規律ニ定メラルベキ例外ヲ條件トシテ)且性質上繼續的ニ行フコトヲ要スル勞務ニ對シテハ一週ニ付四十二時間ノ平均勞働時間ヲ一般原則トシテ定ムルコトノ可否  
其ノ他ノ制限ヲ設クルコトノ可能性

(ハ) 炭坑ニ對シ特別ノ一週ノ平均ヲ定ムルコトノ可否(右ノ平均數字ハ何ナルヤヲ指示シテ)  
平均一週勞働時間ガ算定セラルベキ期間

(ニ) 勞働時間ヲ按配スルニ當リ工業的企業、炭坑並ニ商業及事務所ニ於ケル勞働時間ニ關スル現在ノ條約ニ定メラルル一日及一週ノ制限ヲ遵守スルコトノ可否

(ホ) 規律ノ本文ニ於テ規律ニ依リ定メラルル制限内ニ於テ勞働時間ヲ按配スル爲採用セラルベキ方法ヲ指示スルコトノ可否即チ是等ノ方法及或ル方法ノ利用ガ惹起スルコトアルベキ弊害ヲ防止スル爲必要ナル保障ノ指示

三、或ル産業又ハ活動部門ニ對スル特別制度

(イ) 左記ノモノノ要件ニ適合スル爲規律ノ構成内ニ於テ特別規定ヲ設クルコトノ可否且然リトセバ其ノ特別規定如何  
運送業(鐵道及其他ノ運送形式ヲ各別ニ考慮シテ)  
其他ノ産業又ハ活動部門

(ロ) 別箇ノ條約ニ於テ又ハ工業ニ關スル一般條約ニ於テ炭坑ニ付特別規定ガ設ケラルベシトセバ一九三一年ノ勞働時間(炭坑)條約ノ標準條項以外ノ一切ノ規定(尤モ各個ノ在坑時間ノ短縮ヲ實ラス爲必要ナルベキ變更ヲ條件トシテ)ヲ維持スルコトノ可否

四、新雇傭ノ創設ニ對スル保障

生産高ヲ維持シ又ハ増加スルト同時ニ勞働時間短縮ノ結果トシテノ新雇傭者ノ雇入ニ對スル保障ヲ確立スルコトノ可否及右保障ノ性質

五、例 外

左記ニ付例外ヲ設クルコトノ可否

現實ナル若ハ急迫セル災害ノ場合、機械若ハ裝置ニ對シ施サルベキ緊急作業ノ場合又ハ不可抗力ノ場合、尤モ當該企業ノ通常ノ操業ニ對スル重大ナル障礙ヲ除去スルニ必要ナル限リニ於ケルモノトス  
準備的又ハ補充的作業ノ爲及作業ガ本質上同様のナル或ル種ノ勞働者ノ爲  
是等ノ附加的時間ニ對スル制限及關係アルベキ従業員ノ最大ノ割合ヲ設クルコトノ可否  
經濟的必要ニ應ズル爲

(イ) 此ノ目的ノ爲ニ許セラルル超過時間ニ對シ數的制限ヲ定ムルコト——産業ノ全體ニ對シ一般制限ヲ定メ又ハ定メラルベキ條件ニ從ヒ各産業若ハ産業部門ニ對スル超過時間ノ最長限度(一般最長限度ノ留保ノ下ニ)ヲ定ムルコトノ可否  
超過時間ヲ部分的ニ分ツコトヲ許容シ且各部分ヲ特別ノ條件ニ從ハシムルコトヲ規定スルコトノ可否、且然リトセバ條件如何

超過時間ニ對スル割増報酬即チ劃一的報酬率又ハ遞増率及是等ノ率ノ設定  
(ロ) 小設備ニ對シ特別規定ヲ設クルコトノ可否、超過時間ノ許容ノ設定及特別按配方法並ニ可能ナラバ附加的報酬ノ特別率ノ設定

六、實施及監督ニ關スル措置

左記ノモノニ對シ或ル義務ヲ課スルコトノ可否  
使用者ニ對シ

次ノモノニ關スル揭示ヲ爲スコト即チ實施セラルル勞働時間ノ按配方法及其ノ適用ノ爲執ララル措置、始業及終業ノ時刻並ニ勞働ガ交替制ニ依リテ行ハラル場合ニハ各交替班ノ始業及終業ノ時刻、勞働時間ノ一部ト看做サレザル休憩時間其ノ他實行セラルル一切ノ附加的時間及必要ナラバ支拂ハラル報酬率ヲ記録スルコト



其ノ他ノ措置

國家ニ對シ

第四百八條ニ從ヒ提出セラルベキ情報

七、條約ノ地域的範圍

各條約ガ左記ニ依リ適用セラルルコトノ可否

國際勞働機關ノ一切ノ締盟國ニ依リ

國際勞働機關ノ非締盟國ニ依リ(定メラルベキ特別手續ニ依リ)

八、或ル國ニ對スル特別制度

或ル國特ニ亞細亞諸國ニ對シ特別規定ヲ許容スルコトノ可否——且然リトセバ其ノ規定如何

九、條約ノ效力發生

(イ) 各條約ノ效力ヲ發生セシムルニ必要ナル批准數ノ設定

(ロ) 必要ナル批准數ガ國際聯盟事務總長宛ニ登錄セラレタル後各條約ガ效力ヲ發生スル期間ノ長サノ設定

十、條約ノ期間

(イ) 條約ノ廢棄

條約ヲ批准シタル締盟國ガ之ヲ廢棄シ得ベキ期間ニ付國際勞働條約ニ於テ通常規定セララルヨリモ一層短キ期間ノ設定

政府ガ其ノ發意ヲ以テ條約ヲ廢棄スルノ可能性又ハ之ヲ廢棄スルコトノ團體的決定ノ必要性

(ロ) 條約ノ改正

各條約ヲ全部又ハ一部改正シ得ベキ期間ニ付國際勞働條約ニ於テ通常規定セララルヨリモ一層短キ期間ノ設定

### 第三、技術的失業

勸告又ハ決議ノ採擇ニ依リ就中生産高及種々ノ時期ニ使用セラルル勞働者ノ數ヲ考慮シテ國際勞働事務局ニ技術的失業ニ關スル資料ヲ送付スルコトヲ諸國政府ニ建議スルコトノ可否  
必要ナラバ右資料ノ蒐集及送達ノ爲採用セラルベキ最善ノ方法ノ指示

## 三、總會本會議ニ於ケル委員會報告書ノ討議

上記ノ報告書及結論案ハ第十七回總會ノ第二十三次會議ニ上程セラレタルガ總會ニ於テハ結論案ニ對シテハ何等修正案ノ提出モナク且報告委員ガ説明ヲ爲セルト「メキシコ」ニ勞働者代表ガ本問題ニ對スル同國勞働者ノ態度ヲ説明セル聲明ヲ爲セル外ハ佛蘭西勞働者側顧問ガ勞働者ノ名ニ於テ宣言ヲ爲シ之ニ對シ和蘭使用者代表ガ回答セルノミナリキ。

勞働者側ノ宣言ハ左ノ如シ。

世界ニ於ケル失業ノ危機ニ鑑ミ勞働時間ヲ短縮スルコト極メテ緊要ナルニ依リ且

右短縮ヲ國際規律ノ方法ニ依リ薦フスコト必要ナルニ依リ

勞働者側ハ報告書ノ或ル部分及諸國政府ノ意見ヲ徵スル爲提案セラレタル諸點中勞働者側ノ承認セザル部分ノ削除ヲ提案スルコトニ依リ現段階ニ於ケル討議ヲ遲滞セシメントスル意向ナシ

然レトモ勞働者側ハ左ノ宣言ヲ爲スコト必要ナリト思惟ス

- (一) 諸國政府ガ序文ニ包含セラレタル廣義ニ互ル諸點(結論案甲)ニ關スル回答ヲ來年第二次討議前一定期限内ニ提出スルコト不可能ト認ムル場合ニモ右ハ來年度總會ニ於テ條約案ヲ作成シ且採擇スルコトヲ回避スル充分ナル理由ト看做サレザルベ



(二) 國際規律ニ依ル如何ナル労働時間ノ短縮モ一週ノ賃銀及一月ノ給料ノ維持ニ關シテハ適當ナル保障ヲ作フニ非ザレバ眞ニ有效ナルコトヲ得ズ

(三) 労働者團ハ一月ノ準備會議ニ提出シタル其ノ宣言ヲ確認シタル上國際労働事務局ノ理事會ニ對シ労働時間ノ短縮ヲ農業ニ擴張スルコトニ關スル準備會議ノ決定ノ附託セラレタル其ノ農業委員會ガ其ノ事業ヲ進捗セシメ以テ此ノ問題チ一九三四年度總會又ハ翌クモ一九三五年度總會ニ於テ審議シ得ル様監視スベキコトヲ勸告ス

右宣言ヲ爲スニ當リ佛蘭西労働者側顧問ハ使用者代表團ガ提出セル若干ノ修正案ニ主トシテ效力ヲ與ヘタル結論案(甲)ニ對シ労働代表ガ委員會ニ於テ採リタル態度ニ付注意ヲ喚起シ労働者側ハ當該諸點ニ關スル資料ヲ蒐集スルコトヲ危惧スルモノニ非ズ右資料ハ必ズヤ來年ノ討議ニ有用ナルモノナルベク且技術的進歩、産業上ノ發展及現在ノ不況ヨリシテ労働時間ノ短縮ハ必要ナリトスル労働者團ノ主張ヲ確實ニスルコトヲ確信シテ疑ハズ然レドモ一切ノ點ニ關スル資料ヲ蒐集スルニハ長期間ノ必要アルニ鑑ミ労働者側ハ使用者側ノ意見ハ單ニ來年度ノ討議ヲ容易ニスルニ在リテ資料ノ不充分ナル事情ヲ作り以テ來年ノ總會ガ條約案ヲ作成スルコトヲ得ザルコトヲ主張セントスルモノニ非ザルコトヲ期待スト述ベタリ。

右ニ對シ和蘭使用者代表ハ縱令使用團ノ名ニ於テ豫メ文書ニ依ル宣言ノ起草セラレタルモノナシトスルモ使用者ノ大多數ハ次ギノ意見ニ賛成スベシト爲シ結論案(甲)ニ關シテハ使用者側ノ態度ハ徹頭徹尾闡明セラレタルヲ以テ右ニ對スル使用者ノ意向ニ關シテ労働者ニ疑問ノ餘地ナカルベシ使用者側ハ労働者ト同一ノ立場ニ在リ使用者側ハ結論案(甲)ニ從ヒテ蒐集セラルル資料ハ強制的ノ労働時間短縮ハ失業ヲ増加シ且經濟界ニ於ケル不均衡ヲ惹起スベケレバ一般福祉ノ爲ノミナラズ労働者自身ノ爲ニモ亦悲惨ナル結果ヲ招來スベシトスル使用者側ノ主張ヲ強固ニスベキコトヲ期待ス使用者側ハ頭初ヨリ議題タル本問題ガ條約案ノ題目ト爲スニ適スルモノニ非ザルコトヲ主張シ且其ノ從來ノ態度ヲ維持スルモノナレバ世界ノ爲不幸ト認メラル手段ニ着手スル一切ノ企圖ニ反對投票ヲセザルヲ得ズトセリ。

次デ委員會報告書及之ニ添附セラレタル結論案ハ採擇セラレタリ。

次デ總會ハ翌日ノ第二十五次會議ニ於テ九十九票對二十四票ヲ以テ労働時間短縮問題ヲ第二次討議ノ爲次回總會ノ議題ニ上程スルコトニ決定セリ。

#### 四、質問書ノ作成

既ニ述ベタル如ク労働時間短縮問題ニ關シテ委員會ニ依リ第十七回總會ニ提出セラレタル結論案ハ無修正ニテ總會ニ依リ採擇セラレタリ。仍テ事務局ハ是等ノ結論ニ基キテ總會議事規則第六條第六項ニ依リ來年度總會ニ於ケル第二次討議ノ爲質問書ヲ作成スルコト必要トナレリ。



當該結論ハ全ク性質ヲ異ニスル夫々(甲)、(乙)ノ二部ヨリ成ルコト既ニ注意セラレタル所ナルベシ。

(甲)部ハ諸國政府ヲシテ「適當ノ時期及可能ナル限度ニ於テ本問題ニ關スル其ノ意見及資料ヲ通告シ得シムル爲」質問書ノ序文ノ形式ニ於テ諸國政府ニ送附スベキ一聯ノ豫備諸點ヨリ成リ居レルガ該諸點ハ一方ニ被傭者數及失業者數、現行ノ一週労働時間、平均一週労働時間ノ實際ニ於ケル短縮ノ程度及方法、季節的產業等ノ事項ニ關スル各國ニ於ケル現狀ニ關シ他方ニハ一週四十時間制ノ雇傭及失業、生産費及一般國民經濟、社會保險制度等ニ及ボスベシト思ハルル效果並ニ一週四十時間制ノ技術的的可能性ニ關係ス。結論ノ右ノ部分ハ灰色青色報告書ニ包含セラレタル提案ニ對シテ第十七回總會ノ委員會ニ依リテ爲サレタル附加ナルコト既ニ注意セラレタル所ナルベシ。

(乙)部ハ總會ノ議事規則ニ規定アルガ如キ質問書ニ掲ゲラルベキ諸點ヲ包含ス。是等ノ諸點ハ灰色青色報告書中ニ提案セラレタル「リスト」ニ基クモノニシテ其ノ目的トスル處ハ諸國政府ヨリ通常ノ形式ニ於テ、即チ右諸點ニ基キテ作成シタル質問ニ對スル回答ノ形式ニ於テ、來年度總會ニ於テ労働時間短縮問題ニ付國際規律ヲ作成スルコトノ可否、右規律ノ採ルベキ形式(例ヘバ條約案等)及本問題ノ各方面ニ關シテ規律中ニ包含セラルベキ實質的規定ニ關スル其ノ意見ヲ聽取スルニ在リ。

仍テ事務局ハ本書ノ末尾ニ掲載セル序文及質問書ニ於テ多少事實的性質ノ資料ノ供給ト質問書ノ通常ノ目的トヲ區別セル結論ノ形式ヲ保存セリ。

序文ニ關スル限リニ於テハ單ニ結論(甲)ニ明示セララル諸點ヲ其ノ儘再録セルガ是等ノ諸點ガ採擇セラレタル事情ハ第十七回總會ノ委員會報告書中ニ相當詳細ニ説明シアレバ茲ニハ右ニ關スル詳細ナル批評ヲ爲サザルモ右序文中ニハ來年度總會ノ事業ノ爲事務局ガ敢テ注意ヲ喚起セントスル一方面アリ。本年度總會ニ於テ労働者代表ハ序文ニ對應スル充分ナル資料ガ來年度總會迄ニ利用シ得ルニ至ラザレバ條約案起草ニ若干ノ困難ヲ惹起スベシト謂フコトヲ危惧セシコト既ニ注意セラレタル所ナルベシ(委員會ニ於ケル労働者側代表ノ聲明及總會本會議ニ於ケル其ノ宣言參照)。然レドモ若シ序文ノ效果ニシテ質問書ノ回答ガ總會ニ合フ様提出セララルコトヲ妨害スルモノトセバ來年度總會ノ事業ニ取リテ重大ナル事情ヲ生ズベシ。故ニ事務局ハ諸國政府ガ序文ニ關シ執ルコト望マシト思惟スル措置ヲ毫モ阻害センコトヲ欲セズシテ單ニ諸國政府ニ對シ序文ニ付執ラルル措置ニ關スル情報ハ來年度總會ノ開會前比較的遲レテ通告セララルトモ質問書夫レ自體ニ對スル其ノ回答ハ青色報告書ニ挿入スルニ充分間ニ合フ様發送セラレンコトヲ確保スルノ望マシキコトヲ敢テ勸告スルモノナリ。

質問書夫レ自體ニ關シテハ事務局ハ之ヲ起草スルニ當リ單ニ結論(乙)ニ包含セラレタル諸點ヲ質問書ノ通常ノ形式ニ依リテ之ヲ質問ニ變更スルノミナリシガ右起草中ニ爲サレタル變更ハ全然起草問題ニ過ギズシテ個々ニ付、之ヲ舉グルノ必要ナク右ニ關聯シテ言及ノ必要アルモノハ單ニ質問書中第十七問、第十八問及第二十問ノミナルベシ。第十七問ハ産業一般ニ付提案セラレタル四十時間ヨリモ一層



短キ特別ノ平均一週労働時間ヲ炭坑ニ於ケル地下労働ニ付定ムルノ可能性ニ關スルモノナルガ(結論第二ノ第二項(ロ))右ニ於テハ三十八時間四十五分ナル數字ヲ例示トシテ掲載セリ。同様ニ平均一週労働時間ガ算定セラルベキ最長期間ニ關スル第十八問(結論第二ノ第二項(ハ))ニハ一般原則トシテ四週間ナル數字及炭坑ニ付テハ六週間ナル數字ヲ例示トシテ掲載セリ。更ニ平均制限内ニ於テ労働時間ヲ按配スル方法等ニ關スル第二十問(結論第二ノ第二項(ホ))ニ於テハ國際規律ニ方法ヲ明示スベキヤ否ヤ——然リトセバ如何ナル方法ヲ明示スベキカ及弊害ヲ防止スル爲如何ナル保障ヲ必要トスルカヲ一般の字句ニ依リ諸國政府ニ諮問スルニ止マラズ尙又右ニ關聯シテ利用セラルベキ方法ノ限定ニ付三部制準備會議ノ討議ノ結果タル二ノ特殊ノ提案ヲ掲グルコト望マシト思惟セラレタリ。但シ是等各種ノ場合ニ於テ事務局ノ意圖セル目的ハ諸國政府ガ質問書ニ回答スル場合ニ其ノ意見ヲ何等阻害スルコトナクシテ其ノ仕事ヲ容易ナラシメ以テ來年度總會ノ爲青色報告書ヲ作成スルニ當リ一層明白ニシテ且正確ナル指示ヲ得ントスルニ在リ。

爾餘ノ點ニ關シテハ第十七回總會ニ於ケル委員會ノ報告書ヲ照合シテ見レバ委員會ニ依リ提出セラレ次デ質問書ニ挿入スル爲總會ノ承認スル所トナリタル諸點ハ灰色青色報告書ノ第四章ニ於テ提案セラレタル諸點ニ若干ノ變更ヲ加ヘテ再録セルモノナルコト明瞭ナリ。右ノ如キ事情ナル上且諸國政府ハ灰色青色報告書ノミナラズ本書中ニ掲ゲラレ且、委員會ニ依リテ爲サレタル變更ニ付參照シ得ル第

十七回總會ノ委員會報告書ヲモ利用シ得ルヲ以テ事務局ノ起草セル質問書ニ關シ詳細ナル註釋ヲ茲ニ掲載スルコトハ單ナル重複タルニ過ギザルベシ。

又委員會ニ於テハ或ル點ニ關聯シテ委員會ニ於テ提出セラレタル多數ノ個人的提案又ハ意見ニ對シ諸國政府ノ注意ヲ喚起スルコトニ意見ノ一致ヲ見タルガ是等ノ提案又ハ意見ハ既ニ委員會報告書中ニ掲載セラレタル所ナレバ茲ニハ右ヲ略述スルト同時ニ之ヲ參照スルニ必要ナル頁ヲ掲グルニ止メン。

質問第二(規律ノ目的)ニ關シテハ現在ノ失業ガ合理化ニ依リテ惹起セララルコトアルベキ設備ニ於ケル失業ヲ救済スル爲ノ條約案ノ可否ニ付本書第十八頁ヲ參照スベキモノナリ。

質問第十二(國際規律ヨリ除外セララルルヲ可トスル種類ノ設備)ニ關シテハ委員會ハ次ギノ企業及設備即チ動物ノ飼養及之ニ關係アル活動(農業的方面ト食料鑛業ノ如キ工業的方面ヲ區別シテ)内地水路ニ依ル運送ヲ包含スル一切ノ形式ノ運送、一年ニ付二月ヲ超エザル間操業セララルル企業及同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル設備ヲ例示トシテ掲グルコトニ意見一致セリ(本書第二十二頁參照)

右ニ關聯シテ同一ノ家ニ屬スル者ノミヲ使用スル設備ノ他ノ設備ニ對スル競争ニ鑑ミ其ノ問題ノ重要性及工業労働時間ニ關スル「ワシントン」條約ガ右ノ設備ヲ明白ニ除外セルニ反シ商業及事務所ニ於ケル労働時間ニ關スル一九三〇年ノ條約ハ之ヲ除外スベキヤ否ヤヲ決定スルコトヲ權限アル機關ニ委ヌ居レルノ事實ヲ掲グルコトニ關シテハ本書第二十三頁ヲ參照スベキナリ。







- (イ) 被傭者數及失業者數
- (ロ) 現行ノ一週勞働時間及右ガ通常ノ一週勞働時間ヨリモ短キ程度
- (ハ) 平均一週勞働時間ノ長サガ左ノ方法ニ依リ實際上短縮セラレタル程度
  - (1) 企業ニ於ケル一切ノ勞働者ニ對スル一層短キ一週勞働時間
  - (2) 企業ノ操業時間ハ不變ノモノトシテ輪番制度ノ適用
  - (3) 其ノ他ノ方法
- (ニ) 季節的産業
- 二、勞働時間ヲ四十時間ニ短縮スルコトガ左ノ場合ニ從ヒ雇傭ヲ増加シ又ハ減少スル上ニ及勞働市場ニ及ボスベキ效果
  - (イ) 勞働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率が時間短縮ニ比例シテ増加セラルル場合
  - (ロ) 勞働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率が増加セラレザル場合
- 三、一般的又ハ特殊ノ事情ニ依リ勞働時間ノ短縮ノ結果トシテ生ズベキ産業ニ於ケル雇傭ノ減少ヲ緩和スルニ必要ナルベキ措置ノ指示
- 四、(イ)生産費及(ロ)一般國民經濟ガ左ノ場合ニ從ヒ影響ヲ受クベキ程度
  - (イ) 勞働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率が時間短縮ニ比例シテ増加セラルル場合

- (ロ) 勞働セラルル時間當リノ現在ノ時間率及個數率が増加セラレザル場合
  - 五、勞働時間短縮ガ社會保險制度ニ及ボス影響
  - 六、勞働時間ヲ一週四十時間ニ短縮スルコトノ技術的可能性
- 質 問 書

### 第一 一般的问题

- 一、國際勞働總會ハ條約案ノ方法ニ依リ勞働時間ヲ短縮スル爲ノ國際規律ヲ採擇スルコト望マシト考ヘラルルヤ
- 二、條約案ハ失業ヲ救済シ且勞働者ガ技術的進歩ニ因ル利益ニ與ルコトヲ確保スル目的ヲ以テ作成セラルベキヤ
- 三、條約案ハ次ノ何レヲ基礎トシテ作成セラルベキヤ
  - (イ) 條約案ノ適用ニ由來スル勞働時間ノ短縮ニ依リ一週ノ賃銀及一月ノ給料ハ減額セラレザルコト又ハ
  - (ロ) 條約案ニハ一週ノ賃銀及一月ノ給料ノ維持ノ爲何等ノ規定ヲモ設ケザルコト



四、條約案ハ賃銀及給料ニ關シテ該條約中ニ包含セラルル條項ノ有效ナル適用ヲ確保スル爲規定ヲ設クベシト考ヘラルルヤ

如何ナル規定ヲ提案セラルルヤ

五、條約案ニ依ラザレバ總會ハ勸告ヲ採擇スベシト考ヘラルルヤ

六、賃銀及給料ニ關シテ設ケラルベキ規定ハ別個ノ條約案又ハ別個ノ勸告中ニ包含セラルベシト考ヘラルルヤ

七、賃銀及給料ノ問題ハ別トシテ生活標準ノ問題ヲ考慮スベシト考ヘラルルヤ

如何ニシテ右ノ問題ヲ國際規律ニ於テ處理シ得ベシト考ヘラルルヤ且右ノ問題ニ關シ如何ナル提案ヲ爲サルルヤ

八、條約案ハ既ニ採擇セラレタル國際勞動諸條約ニ通常規定セラルルヨリモ短キ有効期間ヲ有スベシト考ヘラルルヤ、又ハ右諸條約ト同一期間ヲ有スベシト考ヘラルルヤ

九、條約案ハ

- (イ) 労働時間ノ平均一週制限ヲ規定シ且右平均ノ嚴格ナル遵守ト兩立スル限り自由ニ労働時間ヲ按配スル方法ヲ選擇スルコトヲ許容スベキヤ又ハ
- (ロ) 各週ニ對スル嚴重ナル制限ヲ規定スベキヤ

十、國際規律ハ一又ハ二以上ノ條約案即チ

- (イ) 炭坑ヲ包含セル工業的設備並ニ商業的及類似ノ設備ニ適用スル單一ノ條約案又ハ
  - 一ハ炭坑ヲ包含セル工業的設備ニ他ハ商業的及類似ノ設備ニ適用スル二個ノ條約案又ハ
- (ハ) 第一ニ工業的設備ニ、第二ニ炭坑ニ並ニ第三ニ商業的及類似ノ設備ニ適用スル三個ノ條約案又ハ
  - ハ
- (ニ) 各々一定ノ産業、職業又ハ活動部門ニ適用スル若干ノ條約案
  - ニ於テ處理セラルベシト考ヘラルルヤ最後ノ場合ニハ如何ナル産業、職業又ハ活動部門ガ各箇ノ條約案ニ於テ處理セラルベキヤ

## 第二 規律ノ内容

### A—範 圍

十一、(イ) 如何ナル種類ノ設備ガ條約案(註)ノ適用ヲ受クベキモノト考ヘラルルヤ

(註) 本質問書中之以下ノ部分ニ付テハ「條約案」ナル語ハ質問<sup>〔十〕</sup>ニ對スル回答ニ依リテ決定セラルベキ一又ハ二以上ノ條約案ノ何レカニ關スルモノトシテ便宜上之ヲ使用セリ

(ロ) 特ニ條約案ハ既ニ採擇セラレタル工業、炭坑並ニ商業及事務所ニ於ケル労働時間ニ關スル三條



約ニ依リ夫々包含セラレタル設備ニ適用スベキヤ

(ハ) 尙條約案ハ商業及事務所ニ於ケル労働時間ニ關スル一九三〇年ノ條約ヨリ除外セラレタル設備即チ

病者、虚弱者及精神不適者ノ治療又ハ看護ノ爲ノ設備

旅館、料理店、下宿屋、俱樂部、「カフェ」及其ノ他ノ飲食店

劇場及公衆娛樂場

ニモ適用スベキヤ

十二、如何ナル種類ノ設備ニ付

(イ) 如何ナル場合ニ於テモ條約案ノ適用範圍ヨリ除外セラルベキモノト考ヘラルルヤ

(ロ) 條約案ニ依リ除外ヲ權限アル機關ノ裁量ニ委ヌルヲ可トスト考ヘラルルヤ

十三、(イ) 條約案ハ小設備ニ付特殊規定——且如何ナル規定——ヲ包含スベシト考ヘラルルヤ(註)

(註) 本質問書ニ於ケル以下ノ質問ハ炭坑又ハ其ノ他ノ特殊ノ設備ヲ明示的ニ取扱ヒ居レル一ニノ質問ヲ除ケバ一般的ニ工業的設備並ニ商業的及類似ノ設備ニ關係ス、來年度總會ノ爲ニスル青色報告書ノ作成ヲ容易ナラシムル爲諸國政府ニシテ是等ノ質問ニ對スル回答ニ於テ例ヘバ質問十一ニ對スル回答ガ問題ヲ取扱ハザル限リ當該回答ガ如何ナル種類ノ設備ニ關係スルカ例ヘバ工業的及商業的設備全體ニ關係スルカ又ハ單ニ工業的設備ニノミ若ハ商業的設備ニノミ關係スルカナ明瞭ニ指示セラルルナラバ幸甚ナリ

(ロ) 右設備ヲ限定スル爲如何ナル標準ヲ提案セラルルヤ、該標準ニシテ當該設備ニ於テ使用セラル

ル者ノ數トスベシトセバ如何ナル數ヲ提案セラルルヤ

十四、(イ) 如何ナル種類ノ者(例ヘバ監督若ハ管理ノ地位ヲ占ムル者又ハ機密ノ事務ニ使用セラルル者)ニ付

(1) 如何ナル場合ニ於テモ條約案ノ適用範圍ヨリ除外セラルベキモノト考ヘラルルヤ

(2) 各條約案ニ依リ除外ヲ權限アル機關ノ裁量ニ委ヌルヲ可トスト考ヘラルルヤ

(ロ) 條約案ハ斯クノ如クシテ除外セラルベキ者ノ數ヲ當該設備ニ於ケル總従業員ノ最大比率ニ制限スベキヤ、然リトセバ如何ナル比率ヲ提案セラルルヤ

(ハ) 條約案ハ除外セラルベキ者ヲ其ノ職務又ハ職業ニ關シテ限定セル表ヲ包含スベキヤ、然リトセバ如何ナル表ヲ提案セラルルヤ

B—労働時間

十五、労働時間ハ條約案ノ適用上被用者ノ指揮ニ服セザル休憩時間ヲ除外シテ被用者ガ使用者ノ指揮

ニ服スル時間ト定義セラルベシト考ヘラルルヤ

然ラズトセバ如何ナル他ノ定義ヲ提案セラルルヤ

十六、條約案ハ一般原則トシテ労働時間ヲ平均一週四十時間ニ制限スベシト考ヘラルルヤ



然ラズトセバ如何ナル他ノ制限ヲ提案セラルルヤ

十七、(イ) 本條約案ハ必然的ニ繼續的ナル作業ニ付労働時間ヲ平均一週四十二時間ニ制限スベシト考ヘラルルヤ

然ラズトセバ如何ナル他ノ制限ヲ提案セラルルヤ

(ロ) 條約案ハ炭坑ニ於ケル地下労働ニ付質問十六ニ掲ゲラルル平均ヨリモ短キ特別ノ平均一週労働時間(例ヘバ三十八時間四十五分)ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ  
如何ナル特別ノ平均ヲ提案セラルルヤ

十八、平均一週労働時間ノ算定セラルベキ期間トシテ條約案ハ如何ナル最長期間(例ヘバ四週間又ハ炭坑ニ於ケル地下労働ニ付テハ六週間)ヲ規定スベキヤ

十九、條約案ハ前記ノ條件ノ留保ノ下ニ労働時間ノ按配ガ如何ナル場合ニモ夫々工業、炭坑並ニ商業及事務所ニ於ケル労働時間ニ關シテ既ニ採擇セラレタル條約ニ依リ規定セラレタル一日及一週ノ制限ニ從フベキコトヲ規定スベシト考ヘラルルヤ

二十、(イ) 條約案ハ前記ノ條件ノ留保ノ下ニ労働時間ヲ按配スル爲適用セラルベキ方法ヲ明示スベシト考ヘラルルヤ

然リトセバ如何ナル方法ヲ明示スベク提案セラルルヤ

(ロ) 又ハ労働時間ノ配分ニ付テノ弊害ヲ防止スル目的ヲ以テ一週ニ於ケル労働時間ガ次ノ按配方法

ニ依リ配分セラルベキコトヲ規定スレバ充分ナルベシト考ヘラルルヤ、即チ例外トシテ許容セラルル時間ヲ除キ當該企業又ハ其ノ分科ノ操業スル一日ノ時間數ガ

(1) 之ニ使用セラルル者ノ各個ノ労働時間ト合致スルカ又ハ

(2) 勞務ガ連續的交替ニ依リ行ハルル場合ニハ其ノ單純ナル倍數タルコト

(ハ) 尙條約案ハ質問十六、十七及十九ニ於テ考慮セラルル制限ノ留保ノ下ニ權限アル機關ノ承認ヲ得タル團體協約ニ依リ適用セラルベキ労働時間ノ按配方法ヲ許容スベシト考ヘラルルヤ

(ニ) 労働時間ノ按配方法ニ關シテ他ノ提案ヲ有セラルルヤ

### C — 特定ノ産業及活動部門ニ關スル特殊制度

二十一、條約案ハ鐵道及其ノ他ノ運送形式ヲ各別ニ考慮シテ運送業ノ要件ニ適應スル爲特殊規定ヲ包含スベシト考ヘラルルヤ

如何ナル規定ヲ提案セラルルヤ

右ノ外ニ特殊規定ヲ提案セラルル他ノ産業又ハ活動部門アリヤ、且如何ナル規定ヲ提案セラルルヤ  
二十二、別個ノ條約案ニ於テタルト一般條約案ニ於テタルトヲ問ハズ炭坑ニ付特殊規定ヲ設クトセバ條約案ハ同條約ノ適用ヲ受クル各種ノ鑛山ニ於テ使用セラルル労働者ノ各個ノ労働時間ノ短縮ヲ齎



五〇  
ス爲必要ナルベキ變更ノ留保ノ下ニ炭坑ニ於ケル勞働時間ヲ制限スル一九三一年ノ條約ノ諸規定ヲ維持スベシト考ヘラルルヤ

#### D——新ナル雇傭ノ創設ニ關スル保障

二十三、條約案ハ勞働時間ノ短縮ガ生産量ヲ維持シ又ハ増加スル目的ヲ以テ新勞働者ヲ使用スルニ至ラシムルコトヲ確保スル爲保障ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ

#### E——例 外

二十四、條約案ハ當該設備ノ通常ノ操業ニ對スル重大ナル障礙ヲ除去スルニ必要ナル限り現ニ災害アルカ又ハ其ノ虞アル場合、機械又ハ裝置ニ付緊急ノ措置ヲ施スベキ場合又ハ不可抗力ノ場合ニ付例外ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ

二十五、(イ) 條約案ハ準備的及補充的作業ニ付竝ニ本質上間歇的ナル作業ニ從事スル或種ノ勞働者ニ付例外ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ

(ロ) 條約案ハ左記ヲ規定スベキヤ

- (1) スクシテ許容セラルル増加時間ノ制限及
- (2) 右例外ノ適用セラルベキ者ノ該設備ニ於テ使用セラルル者ノ總數ニ對スル最大比率

如何ナル制限及如何ナル比率ヲ提案セラルルヤ

二十六、(イ) 條約案ハ經濟的必要ノ爲超過時間ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ

(ロ) 條約案ハ右超過時間ニ付數的制限——且如何ナル制限——ヲ定ムベキヤ

(ハ) 單一ナル一般的制限ヲ工業(及(若ハ)商業及事務所)全體ニ付定ムベキヤ又ハ右ノ一般的制限ヲ條件トシテ特定ノ産業、職業又ハ活動部門ニ付特別制限ヲ定ムベキヤ

如何ナル制限ヲ提案セラルルヤ

(ニ) 超過時間ノ許容ヲ小分スルコトニ付及各部分ノ利用ニ關スル條件ニ付規定ヲ設クベキヤ  
右ニ關シテ如何ナル提案ヲ有セラルルヤ

二十七、條約案ハ經濟上ノ必要ヲ滿タス爲行ハルル超過時間ニ付普通賃銀率以上ニ賃銀率ヲ増加スルコトニ付規定スベシト考ヘラルルヤ

割増賃銀ニ付一定率又ハ遞増率ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ且如何ナル率ヲ提案セラルルヤ

二十八、條約案ハ小設備ニ對シ超過時間數、其ノ按配方法及割増賃銀ノ特別率ニ關シ特殊規定ヲ包含スベシト考ヘラルルヤ

如何ナル規定ヲ提案セラルルヤ

二十九、條約案ニ例外ヲ規定スベシト考ヘラルル他ノ場合アリヤ



然リトセバ如何ナル規定ヲ提案セラルルヤ

#### F——實施及監督ニ關スル一般措置

三十、條約案ハ各國ニ於ケル其ノ實施ヲ容易ナラシムル爲執ララルベキ措置ヲ明示スベシト考ヘラルルヤ

例ヘバ左記ハ一切ノ使用者ニ強制的ト爲サルベキヤ

- (イ) 揭示スルコトニ依リ又ハ公ノ機關ニ依リ承認セラルベキ他ノ方法ニ依リ左記ヲ公示スルコト
  - (1) 現行ノ労働時間ノ按配組織及右組織ヲ適用スル爲執ララル措置
  - (2) 始業及終業ノ時刻並ニ勞務ガ交替制ニ依リ行ハラル場合ニハ各交替班ノ始業及終業時刻
  - (3) 労働時間ノ中ニ包含セラレザル休憩時間
  - (ロ) 許容セラルル例外ニ依リ行ハラル一切ノ超過時間及之ニ關シテ支拂ハラル割増賃銀(之アルトキハ)ヲ公ノ機關ニ依リ承認セラルル形式ニ從ヒ記録スルコト
  - (ハ) 他ノ措置ヲ提案セラルルヤ且如何ナル措置ヲ提案セラルルヤ
- 三十一、條約案ノ實施ノ國際的監督ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テ條約案ハ平和條約第四百八條ニ規定セラレタル年報ニ掲ゲラルベキ特定ノ詳細事項ヲ明示スル規定ヲ包含スベシト考ヘラルルヤ如何ナル詳細事項ヲ提案セラルルヤ

#### G——規律ノ地理的範圍

三十二、條約案ハ國際労働機關ノ一切ノ締盟國ニ適用スベシト考ヘラルルヤ

三十三、條約案ノ適用ニ於テ國際労働機關ノ非締盟國ヲ參加セシムル爲若干ノ手續ニ付規定ヲ設クベシト考ヘラルルヤ

#### H——特定國ニ對スル特殊制度

三十四、條約案ハ特定國就中亞細亞諸國ニ付特殊制度ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ然リトセバ右ニ關シテ如何ナル提案ヲ有セラルルヤ

### 第三 規律ノ效力發生及期間

#### A——規律ノ效力發生

三十五、條約ノ效力發生ハ如何ナル批准數ヲ條件トナスベキヤ——國際労働條約ニ於テ通常規定セララルル如ク二トスベキヤ又ハ其レ以上ノ多數トスベキヤ

三十六、條約ノ必要ナル批准數ノ登錄ト其ノ實際的效力發生トノ間ニ如何ナル期間ヲ規定スベシト考ヘラルルヤ——通常規定セラルル如ク十二月ノ期間トスベキヤ又ハヨリ短キ期間トスベキヤ

#### B——期間



三十七、條約ヲ批准セル締盟國ガ條約ヲ廢棄シ得ベキ滿了期間ハ如何ナルベシト考ヘラルルヤ  
三十八、各締盟國ハ各別ニ條約ヲ廢棄スルコトヲ許容セラルベシト考ヘラルルヤ又ハ廢棄ノ團體的決定ヲ條件ト爲スベシト考ヘラルルヤ、後者ノ場合ニハ如何ナル手續ヲ提案セラルルヤ  
三十九、條約ノ全部又ハ一部ノ改正ガ理事會ニ依リ審議セラルベキ滿了期間ハ如何ナルベシト考ヘラルルヤ——通常規定セラルル如ク條約ガ初メテ效力ヲ發生シタル後十年ノ期間トスベキヤ又ハヨリ短キ期間トスベキヤ

#### 第四 技術的失業

四十、生産量及種々ノ時期ニ於テ使用セラレタル労働者ノ數ヲ特ニ考慮シテ技術的失業ノ擴大ニ關スル情報ヲ國際労働事務局ニ通告スルコトヲ各國政府ニ慫慂スル勸告又ハ決議ヲ總會ガ採擇スベキコト望マシト考ヘラルルヤ

然リトセバ右ノ國際的調査組織ノ爲如何ナル提案ヲ爲サルルヤ



## PREAMBLE AND QUESTIONNAIRE

---

### *Preamble.*

*Governments are invited to communicate, in due course and so far as it is possible for them to do so, their views and information for their respective countries on the following points:*

#### *I. The position as to:*

- (a) Numbers employed and unemployed;*
- (b) Existing weekly working hours and how far these fall short of the normal weekly hours;*
- (c) The extent to which the length of the average working week has in practice been reduced by means of:
  - (i) a shorter working week for all workers in an undertaking; or*
  - (ii) the application of rotation systems, the period of operation of the undertaking being unaltered; or*
  - (iii) any other method.**
- (d) Seasonal industry.*

#### *II. The effect which a reduction of hours of work to 40 per week would have in increasing or decreasing employment and on the labour market according as:*

- (a) Existing time rates per hour worked and piece rates are increased proportionately to the reduction of hours;*
- (b) Existing time rates per hour worked and piece rates are not increased.*

#### *III. Indications of the measures which would be necessary for neutralising or mitigating a reduction of employment in industries in which, owing to general or special circumstances, this should result from a reduction of hours.*



- IV. *The extent to which (a) cost of production and (b) the general national economy would be affected according as:*
- (a) *Existing time rates per hour worked and piece rates are increased proportionately to the reduction of hours;*
  - (b) *Existing time rates per hour worked and piece rates are not increased.*
- V. *The influence of a reduction of hours of work on social insurance schemes.*
- VI. *The technical practicability of reducing hours of work to 40 per week.*

## QUESTIONNAIRE

### I

#### GENERAL QUESTIONS

1. Do you consider it desirable that the International Labour Conference should adopt, by way of Draft Convention, international regulations for reducing hours of work?
2. Should the Draft Convention be framed with a view to remedying unemployment and also to ensuring that the workers share in the benefits of technical progress?
3. Should the Draft Convention be drawn up on the basis either
  - (a) that weekly wages and monthly salaries will not be reduced by reason of the reduction of hours of work resulting from the application of the Convention; or
  - (b) that no provision is to be made in the Draft Convention for the maintenance of weekly wages and monthly salaries?
4. Do you consider that the Draft Convention should make provision for securing the effective application of the clauses included in it in regard to wages and salaries?  
What provisions do you propose?
5. Do you consider that failing a Draft Convention the Conference should adopt a Recommendation?

6. Do you consider that the provisions to be laid down in regard to wages and salaries should be included in a separate Draft Convention or a separate Recommendation?
7. Do you consider that apart from the question of wages and salaries the question of the standard of living should be considered?  
How do you consider that this question could be dealt with in international regulations, and what proposals do you make on the matter?
8. Do you consider that the Draft Convention should have a shorter period of validity than is normally provided for in the international labour Conventions which have already been adopted, or the same period as these Conventions?
9. Do you consider that the Draft Convention
  - (a) should lay down an average weekly limit of hours of work and allow as large a choice of methods of arranging hours of work as is consistent with strict observance of this average; or
  - (b) should prescribe a rigid limit for each week?
10. Do you consider that the international regulations should be dealt with in one or more Draft Conventions, i.e.
  - (a) a single Convention applying to industrial establishments, including coal mines, and also to commercial and similar establishments; or
  - (b) two Draft Conventions, the one applying to industrial establishments, including coal mines, and the other to commercial and similar establishments; or
  - (c) three Draft Conventions, the first applying to industrial establishments, the second to coal mines, and the third to commercial and similar establishments; or
  - (d) a number of Draft Conventions, each applying to a given industry, trade or activity?

In the last case what industries, trades or activities should be dealt with in separate Draft Conventions?

### II

#### SUBSTANCE OF THE REGULATIONS

##### A. — Scope

11. (a) What categories of establishments do you consider should be covered by the Draft Convention?<sup>1</sup>

<sup>1</sup> For the rest of the Questionnaire the expression "Draft Convention" is used compendiously to cover the possibility of either one or more Draft Conventions as may be determined by the replies to Question 10.



(b) In particular, should the Draft Convention apply to the establishments covered respectively by the three Conventions already adopted on hours of work in industry, coal mines, and commerce and offices ?

(c) Further, should the Draft Convention also apply to the establishments which are excluded from the 1930 Convention on hours of work in commerce and offices, i.e.:

establishments for the treatment or care of the sick, infirm, destitute or mentally unfit;

hotels, restaurants, boarding houses, clubs, cafés and other refreshment houses;

theatres and places of public amusement ?

12. What categories of establishments do you consider

(a) should in any case be excluded from the scope of the Draft Convention;

(b) might be left by the draft to the discretion of the competent authority to exclude ?

13. (a) Do you consider <sup>1</sup> that the Draft Convention should contain special provisions — and what provisions — for small establishments ?

(b) What criterion do you propose for defining these establishments ? If the criterion should be the number of persons employed in the establishment, what number do you propose ?

14. (a) What categories of persons (e.g. persons holding positions of management or supervision or employed in a confidential capacity) do you consider

(i) should in any case be excluded from the scope of the Draft Convention;

(ii) might be left by the draft to the discretion of the competent authority to exclude ?

(b) Should the Draft Convention limit the number of persons to be thus excluded to a maximum percentage of the total staff of the establishment ? If so, what percentage do you propose ?

(c) Should the Draft Convention contain a list of the persons to be excluded defined with reference to their duties or occupations ? If so, what list do you propose ?

<sup>1</sup> The following questions in the Questionnaire, apart from one or two dealing specifically either with coal mines or other particular categories of establishments, refer generally to industrial establishments and to commercial and similar establishments. With a view to facilitating the preparation of the Blue Report for next year's Conference, it would be much appreciated if Governments in their replies to these questions would be good enough to indicate clearly, in so far as their replies to Question 11 for example do not dispose of the matter, to which categories of establishments the replies relate, e.g. to industrial and commercial establishments as a whole or only to industrial establishments or only to commercial establishments, etc.

B. — Hours of Work

15. Do you consider that hours of work should be defined for the purposes of the Draft Convention as the time during which the persons employed are at the disposal of the employer, excluding rest periods during which the persons employed are not at the disposal of the employer ?

If not, what other definition do you propose ?

16. Do you consider that the Draft Convention should limit hours of work as a general rule to an average of 40 hours in the week ?

If not, what other limit do you propose ?

17. (a) Do you consider that the Draft Convention should limit hours of work for work which is necessarily continuous to an average of 42 hours in the week ?

If not, what other limit do you propose ?

(b) Do you consider that the Draft Convention should provide for a special weekly average of hours of work, less than the average referred to in Question 16, for underground work in coal mines (e.g. 38 hours 45 minutes) ?

What special average do you propose ?

18. What maximum period should be laid down by the Draft Convention as the period over which the weekly average of hours of work is to be calculated (e.g. 4 weeks, or, in the case of underground work in coal mines, 6 weeks) ?

19. Do you consider that the Draft Convention should lay down that any arrangement of hours of work, subject to the conditions referred to above, is in any case to respect the daily and weekly limits laid down by the Conventions already adopted on hours of work respectively in industry, coal mines, and commerce and offices ?

20. (a) Do you consider that the Draft Convention should specify the methods which may be applied for arranging hours of work subject to the conditions referred to above ? If so, what methods do you propose to specify ?

(b) Or do you consider that, with a view to preventing any abuse in the distribution of hours of work, it would be sufficient to stipulate that the hours worked in any one week are to be distributed within the week by an arrangement according to which the number of hours in the day, excluding hours authorised by way of exceptions, during which the undertaking or branch thereof operates

(i) coincides with the number of individual hours of work of the persons employed therein, or

(ii) where work is performed by successive shifts, is a simple multiple thereof ?



(c) Further, do you consider that, subject to the limitations contemplated in Questions 16, 17 and 19, the Draft Convention should allow any method of arranging hours of work to be applied by collective agreement approved by the competent authority?

(d) Have you any other proposals to make in regard to the arrangement of hours of work?

C. — *Special Systems for certain Industries or Activities*

21. Do you consider that the Draft Convention should contain special provisions to meet the requirements of the transport industry, considering separately railways and other forms of transport?

What provisions do you propose?

Are there any other industries or activities for which you also propose special provisions, and what provisions?

22. Do you consider that, if special provisions are laid down, whether in a separate Draft Convention or in a general Draft Convention, for coal mines, the Draft Convention should retain the provisions of the 1931 Convention limiting hours of work in coal mines, subject to such changes as may be required to bring about a reduction in the individual hours of work of workers employed in the different categories of mines covered by this Convention?

D. — *Guarantees for the creation of fresh employment*

23. Do you consider that the Draft Convention should provide for guarantees for ensuring that the reduction in hours of work results in the employment of fresh workers with a view to maintaining or even increasing the volume of production?

What guarantees do you propose?

E. — *Exceptions*

24. Do you consider that the Draft Convention should provide for exceptions for accidents, actual or threatened, urgent work to machinery or plant, or in cases of force majeure, so far as may be necessary to avoid serious interference with the ordinary working of the establishment?

25. (a) Do you consider that the Draft Convention should provide for exceptions for preparatory and complementary work and for certain classes of workers whose work is essentially intermittent?

(b) Should the Draft Convention lay down

- (i) a limit to the additional hours thus authorised; and
- (ii) a maximum percentage of the total number of persons employed in the establishment, for the persons to whom these exceptions are to apply?

What limit and what percentage do you propose?

26. (a) Do you consider that the Draft Convention should provide for overtime for economic requirements?

(b) Should the Draft Convention fix a numerical limit—and what limit—for such overtime?

(c) Should a single general limit be fixed for industry (and/or commerce and offices) as a whole, or, subject to such a general limit, should special limits be fixed for certain industries, trades or activities?

What limits do you propose?

(d) Should provision be made for subdividing the allowance of overtime into fractions and for special conditions for the use of each fraction?

What proposals have you to make in this connection?

27. Do you consider that the Draft Convention should provide for increasing the rate of pay above the regular rate, for overtime performed in order to meet economic requirements?

Do you consider that a flat rate or a progressive rate should be laid down for the extra pay, and what rate do you propose?

28. Do you consider that the Draft Convention should contain special provisions for small establishments in respect of the amount of overtime, its arrangement and a special rate of extra pay therefor? What provisions do you propose?

29. Are there other cases for which you consider that exceptions should be provided in the Draft Convention? If so, what proposals have you to make?

F. — *General measures for enforcement and supervision*

30. Do you consider that the Draft Convention should specify measures to be taken to facilitate its enforcement in the individual country?

Should it, for example, be made obligatory on every employer

(a) To notify by the posting of notices or by such other method as may be approved by public authority

- (i) the system of arrangement of hours of work in operation and the measures taken for applying this system;
- (ii) the hours at which work begins and ends, and, where work is carried on by shifts, the hours at which each shift begins and ends;
- (iii) the rest periods not included in hours of work;

(b) To keep a record in a form approved by public authority of all overtime performed in virtue of the exceptions authorised, and of the amount of extra pay, if any, paid in respect thereof?

(c) Do you propose any other, and what, measures?

31. Do you consider that, with a view to facilitating international supervision of the enforcement of the Draft Convention, the latter should



contain provisions specifying certain particulars to be given in the annual reports provided for in Article 408 of the Treaty? What particulars do you propose?

G. — *Geographical extent of the regulations*

32. Do you consider that the Draft Convention should apply to all States Members of the International Labour Organisation?

33. Do you consider that provision should be made for some procedure for associating States non-Members of the Organisation in the application of the Draft Convention?

H. — *Special systems for certain countries*

34. Do you consider that the Draft Convention should provide for special systems for certain countries, in particular Asiatic countries? If so, what proposals have you to make in this connection?

III

COMING INTO FORCE AND DURATION OF THE REGULATIONS

A. — *Coming into force*

35. On what number of ratifications should the coming into force of the Convention be made conditional—two, as is normally provided for in the international labour Conventions, or a larger number?

36. What interval do you consider should be provided for between registration of the necessary number of ratifications and the actual coming into force of the Convention—interval of twelve months, as is normally provided for, or a shorter interval?

B. — *Duration*

37. What do you consider should be the period on the expiration of which any Member which has ratified the Convention may denounce it—period of ten years from the date on which the Convention first comes into force, as is normally provided for, or a shorter period?

38. Do you consider that each Member should be allowed to denounce the Convention individually, or that denunciation should be made conditional upon a collective decision? In the latter case, what procedure do you propose?

39. What do you consider should be the period on the expiration of which the total or partial revision of the Convention should be considered by the Governing Body—period of ten years after the Convention first comes into force, as is normally provided for, or a shorter period?

IV

TECHNOLOGICAL UNEMPLOYMENT

40. Do you consider it desirable that the Conference should adopt a Recommendation or a Resolution inviting Governments to communicate to the International Labour Office information on the development of technological unemployment, having regard *inter alia* to the volume of production and the number of workers employed at different dates?

If so, what proposals do you make for the international organisation of such an enquiry?







